

Altova LicenseServer

ユーザーマニュアル

Altova LicenseServerユーザーマニュアル

All rights reserved. No parts of this work may be reproduced in any form or by any means - graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or information storage and retrieval systems - without the written permission of the publisher.

Products that are referred to in this document may be either trademarks and/or registered trademarks of the respective owners. The publisher and the author make no claim to these trademarks.

While every precaution has been taken in the preparation of this document, the publisher and the author assume no responsibility for errors or omissions, or for damages resulting from the use of information contained in this document or from the use of programs and source code that may accompany it. In no event shall the publisher and the author be liable for any loss of profit or any other commercial damage caused or alleged to have been caused directly or indirectly by this document.

発行日: 2018

(C) 2018 Altova GmbH

目次

1	Altova LicenseServer	2
1.1	ネットワーク情報	4
1.2	LicenseServer の更新	6
1.3	インストール (Windows)	7
1.4	インストール (Linux)	9
1.5	インストール (macOS)	12
1.6	Altova ServiceController	14
1.7	ライセンスの割り当て方法	15
1.7.1	LicenseServer の開始	16
1.7.2	LicenseServer の構成ページの開きかた (Windows)	18
1.7.3	LicenseServer の構成ページの開きかた (Linux)	21
1.7.4	LicenseServer の構成ページの開きかた (macOS)	23
1.7.5	ライセンスの LicenseServer へのアップロード	26
1.7.6	製品の登録	29
	Altova デスクトップ製品の登録.....	29
	FlowForce Server の登録.....	30
	MapForce Server の登録.....	35
	MobileTogether Server の登録.....	37
	RaptorXML(+XBRL) Server の登録.....	38
	StyleVision Server の登録.....	39
1.7.7	登録された製品へのライセンスの割り当て	42
1.8	構成ページ レファレンス	48
1.8.1	ライセンスプール	49
1.8.2	クライアント管理	56
1.8.3	クライアントの監視	61
1.8.4	設定	62
1.8.5	メッセージ、ログアウト.....	69
1.9	パスワードのリセット.....	70

インデックス

チャプター 1

Altova LicenseServer

1 Altova LicenseServer

Altova LicenseServer (今後は略して **LicenseServer** と称されます) は、Altova 製品のライセンスを集中して管理する場所です。ネットワークで作動する Altova アプリケーションは LicenseServer からライセンスを割り当てられます、ですから、管理者はライセンスを管理及び監視する柔軟性を有します。

現在のバージョン: 2.7

* LicenseServer 2.7 は、以下にライセンスを与えるために使用することができます (i)バージョン 2018r2 または以降の Altova ソフトウェア製品、および (ii) Altova MobileTogether Server バージョン 4.1 または以降。個々にリストされているより新しい Altova 製品バージョンに対してはライセンスを与えることができません。互換性に関する情報に関しては、次を参照してください: [Updating LicenseServer](#)

Altova LicenseServer ライセンスのプロセス

LicenseServer を介して、Altova サーバー製品にライセンスを割り当てるには、以下の手順を踏みます:

1. [LicenseServer の開始](#)
2. LicenseServer の Web UI である [LicenseServer 構成ページ](#) を開きます。 [Windows](#)、[Linux](#)、または [macOS](#)
3. Altova to LicenseServer から受け取った [サーバー製品ライセンスをアップロードする](#)。構成ページ内の [ライセンスプール](#) タブで行います。
4. LicenseServer で Altova サーバー製品 ([FlowForce Server](#)、[MapForce Server](#)、[StyleVision Server](#)、[RaptorXML\(+XBRL\) Server](#)) の登録を行います。
5. 構成ページの [クライアント管理](#) タブで Altova サーバーへの [ライセンスの割り当て](#) を行います。

今後、ライセンスは便利に LicenseServer で集中して監視および管理することができます。使用可能な機能については [構成ページ レファレンス](#) を参照してください。

メモ: [LicenseServer 構成ページ](#) は SSL をサポートしません。

▼ LicenseServer のバージョンと他の Altova 製品との互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

ですから、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、現在の LicenseServer のバージョンが最新でない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、Altova Web サイトで利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。新しいバージョンの LicenseServer をインストールする際は、古いバージョンを新しいバージョンをインストールするまでにアンインストールします。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#) (全て

のタブの下部に表示されます。

現在のバージョン: 2.7

このドキュメントについて

このドキュメントは、以下のパートに整理されています:

- 以下についての基本情報: [ネットワークの必要条件](#)、[Windows](#)、[Linux](#)、および [macOS](#) へのインストール方法、および [Altova ServiceController](#)。
- [ライセンスの割り当ての方法](#) は、Altova LicenseServer を使用する順序を追ったライセンスの割り当ての方法を説明しています。
- [構成ページのレファレンス](#): LicenseServer での管理者のインターフェイスの説明。

最終更新日: 2018年 05月 28日

1.1 ネットワーク情報

Altova LicenseServer は、ライセンスを必要とする Altova 製品が作動するすべてのクライアントからアクセスできるサーバーマシンにインストールされている必要があります。クライアントとサーバのファイアウォールは、LicenseServer が正しく作動するために必要な LicenseServer からへのネットワークトラフィックのフローを許可しなければなりません。

LicenseServer マシンでは **ポート 35355** がライセンス配布用に使われます。ですので、クライアントマシンとネットワークトラフィックのために開かれている必要があります。

以下が LicenseServer のデフォルトのネットワークパラメータおよび必要条件です:

- *LicenseServer* ライセンス配布用:
以下の一方または両方
IPv4 TCP 接続 ポート 35355
IPv6 TCP 接続 ポート 35355

管理タスクに関しては、LicenseServer はポート 8088 を使用する Web インターフェイスからアクセスできます。使用するポートに関しては [条件に合った構成](#) を参照してください。

altova.com のマスターライセンスサーバーへの接続

Altova LicenseServer は、ライセンスに関連したデータを検証と認証し、Altova ライセンス使用許諾契約書への継続的な遵守を確認するため、altova.com のマスター Licensing Server と通信する必要があります。この通信は HTTPS を介して、ポート 443 を使用して行われます。altova.com のマスター Licensing Server との最初の検証の後、Altova LicenseServer が altova.com と 5 日間 (= 120 時間)、再接続できない場合、Altova LicenseServer は Altova LicenseServer に接続して Altova ソフトウェア製品を使用することを許可しません。

Altova マスターサーバーへの接続損失は [Altova LicenseServer の構成ページのメッセージ \(Messages\) タブ](#) にログされます。更に、管理者は、altova.com への接続が失われた場合、自動的に警告の電子メールを送信するように Altova LicenseServer を構成することができます。電子メールの設定の変更は、[構成ページの設定タブ](#)で行うことができます。

LicenseServer がクライアントマシンを識別する方法

LicenseServer を介して Altova 製品がライセンスを供与されている場合、ライセンスは、LicenseServer により特定のクライアントマシンに発行されているものとして記録されます。LicenseServer はクライアントマシンをクライアント IP アドレスの DNS サーバールックアップにより LicenseServer が取得するホスト名により識別します。ルックアップから他のホスト名が取得されない場合、クライアントの IP アドレスは識別子として使用されます。その後、Altova 製品がクライアントマシンで起動されると、LicenseServer は、ライセンスの発行先がホスト名、または、クライアント IP アドレスに一致するかをチェックします。一致する場合、ライセンスの詳細が検証されます。

VPN が動的な IP アドレスと接続する方法

クライアントマシンが仮想プライベートネットワーク (VPN) サービスを介して LicenseServer に接続すると、接続は多くの場合、割り当てられた IP アドレスを使用して作成されます。この場合、クライアントによる新規の接続は、LicenseServer により受信される新規の IP アドレスとして記録され、このた

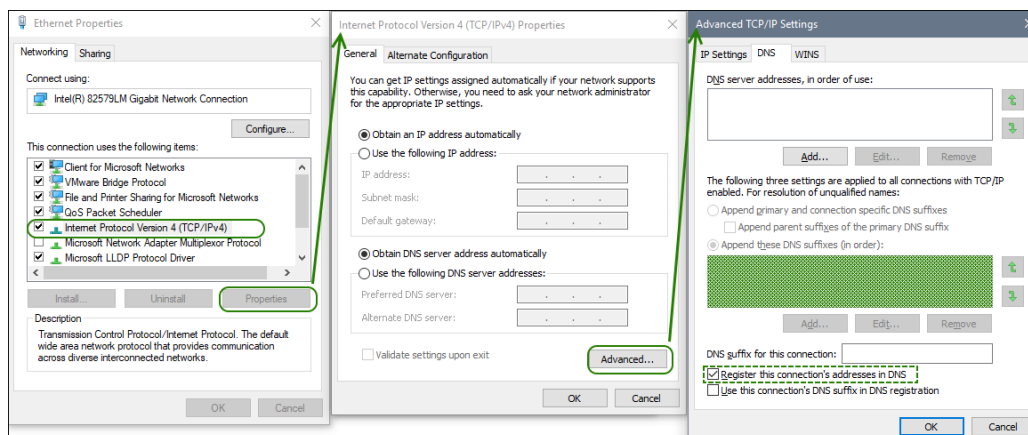
め、既知のクライアントとして認識されます (上記の「LicenseServer」がクライアントマシンを識別する方法を参照してください)。

この操作により以下の結果が発生します:

- クライアントの接続時、LicenseServer 上に追加ライセンスが存在する場合、新規のライセンスが(既に1つまたは複数のライセンスが既に割り当て済みの)クライアントに割り当てられます。クライアントに以前割り当てられているライセンスは割り当てが解除されます。この結果、単一のクライアントが複数のライセンスを消費し、サーバー上のライセンスの不足を招く可能性が発生します。
- LicenseServer に追加ライセンスが存在しない場合、そのクライアントに対して以前ライセンスが割り当てられていたにもかかわらず、(クライアントにより使用されていない IP アドレスにより)そのクライアント上の製品にライセンスを供与することはできません。

解決するには2つの方法があります:

- VPN クライアントを DNS を使用して登録する。操作方法は OS により異なります。Windows 10 クライアント上では、例えば、クライアントネットワーク接続のプロパティによりセトアップを行うことができます (下のスクリーンショット参照)。



- VPN ユーザーに静的な IP アドレスを割り当てる。操作方法は、VPN ソフトウェアにより異なります。VPN プロバイダーまたは管理者から関連する情報を取得することができます。例えば、OpenVPN とこの操作を行う方法は [ここ](#) で説明されています。

1.2 LicenseServer の更新

(RaptorXML Server などの) Altova サーバー製品の新しいリリースには、LicenseServer の新しいバージョン(対応するバージョン) がリリースされます。Altova サーバー製品をアップデートすると、対応する LicenseServer バージョンに LicenseServer もアップデートされる必要があります。対応するバージョンより古い LicenseServer バージョンは Altova サーバー製品にライセンスを割り当てることができません。しかしながら、LicenseServer バージョン下位互換性があります (これは、LicenseServer が Altova サーバー製品のバージョンより古い場合でもライセンスを割り当てるために使用できることを意味します)。

LicenseServer を以下のように更新します:

- *Windows* システム: 新しいバージョンのインストーラー (実行可能ファイル) をダブルクリック、または、インストーラーをコマンドラインから呼び出します。インストーラーは、古いバージョン LicenseServer の古いバージョンをアンインストールし、新しいバージョンをインストールします。
- *Linux* および *macOS*: 古いバージョンを手動でアンインストールし、新しいバージョンのインストーラーファイルを開始します。

同じ条件が既にインストールされている LicenseServer (次を参照してください [Windows](#)、[Linux](#)、[macOS](#))適用されます。

1.3 インストール (Windows)

Altova LicenseServer は Windows システムに 2 通りの方法でインストールすることができます:

- 独立したインストール
- Altova サーバー製品の一部としてのインストール。(Altova サーバー製品: Altova FlowForce Server、Altova MapForce Server、Altova StyleVision Server、Altova RaptorXML(+XBRL) および Altova MobileTogether Server)。Altova サーバー製品をインストールする際、LicenseServer がシステムにインストールされていない場合、LicenseServer のインストールのオプションはインストールセットアップ中にデフォルトで選択されます。LicenseServer が既にインストールされている場合、インストールするオプションは解除されます。デフォルトのオプションは変更可能です。

LicenseServer を使用して、ライセンスを割り当てる方法に関する情報は、[ライセンスの割り当て方法](#) セクションを参照してください。

システムの必要条件

▼ Windows

プラットフォーム更新済みの Windows 7 SP1、Windows 8、Windows 10

▼ Windows Server

プラットフォーム更新済みの Windows Server 2008 R2 SP1 または以降

▼ LicenseServer のバージョンと他の Altova 製品との互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

ですから、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、現在の LicenseServer のバージョンが最新でない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、Altova Web サイトで利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。新しいバージョンの LicenseServer をインストールする際は、古いバージョンを新しいバージョンをインストールするまでにアンインストールします。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#) (全てのタブ)の下部に表示されます。

現在のバージョン: 2.7

サーバー製品の特定のバージョンに適切な LicenseServer のバージョン番号がインストールプロセスの最中に表示されます。サーバー製品と共にこのバージョンの LicenseServer をインストールすることができます、また、新しいバージョンの LicenseServer を個別にインストールすることもできます。どちらのケースの、インストーラーは前のバージョンをアンインストールして、新しいバージョンをインストールします。

1.4 インストール (Linux)

Altova LicenseServer は Linux システム (Debian、Ubuntu、CentOS、RedHat) にインストールすることができます。

システムの必要条件

▼ Linux

- CentOS 6 または以降
- RedHat 6 または以降
- Debian 7 または以降
- Ubuntu 12.04 または以降

次のライブラリはアプリケーションをインストールし実行するために必要とされるライブラリです。下のパッケージが使用中 Linux のマシンで使用できない場合、yum (または、適用できる場合、apt-get を) コマンドを実行してインストールしてください。

サーバー	CentOS, RedHat	Debian	Ubuntu
LicenseServer	krb5-libs	libgssapi-krb5-2	libgssapi-krb5-2

古いバージョン LicenseServer のアンインストール

Linux コマンドラインインターフェイス (CLI) で以下のコマンドを使用して LicenseServer がインストールされているか確認することができます:

```
[Debian, Ubuntu]:  dpkg --get-selections | grep altova
[CentOS, RedHat]:  rpm -qa | grep server
```

LicenseServer がインストールされていない場合、以下のステップでインストールしてください。LicenseServer がインストールされていて、新しいバージョンをインストールしたい場合、以下のコマンドを使用して古いバージョンをアンインストールしてください:

```
[Debian, Ubuntu]:  sudo dpkg --remove licenseserver
[CentOS, RedHat]:  sudo rpm -e licenseserver
```

Altova LicenseServer のインストール

Linux システムでは、LicenseServer は他の Altova サーバー製品と別途にインストールされる必要があり、Altova サーバー製品のインストールパッケージには含まれていません。[Altova Web サイト](#) から Altova LicenseServer をダウンロードして、直接 Linux システムのディレクトリにパッケージをコピーします。

ディストリビューション	インストーラー 拡張子
Debian	.deb

Ubuntu	.deb
CentOS	.rpm
RedHat	.rpm

ターミナルウィンドウで、Linux パッケージをコピーしたディレクトリに切り替えます。例えば (/home/User ディレクトリに存在する)、MyAltova という名のユーザーディレクトリにコピーした場合、以下のように切り替えます:

```
cd /home/User/MyAltova
```

以下のコマンドを使用して LicenseServer をインストールします:

```
[Debian]: sudo dpkg --install licenseserver-2.7-debian.deb
[Ubuntu]: sudo dpkg --install licenseserver-2.7-ubuntu.deb
[CentOS]: sudo rpm -ivh licenseserver-2.7-1.x86_64.rpm
[RedHat]: sudo rpm -ivh licenseserver-2.7-1.x86_64.rpm
```

- LicenseServer パッケージは以下にインストールされます: /opt/Altova/LicenseServer/bin
- LicenseServer を作動するために必要な権利を有する `altovalicenseserver` という名前のユーザーが作成されます。When LicenseServer がデーモンとして (または、サービスとして) 作動している場合、このユーザーとして開始されます。(また、(i) このユーザーが LicenseServer にアクセスすることができる特権を持つ新規のユーザーが作成されます。また、(ii) (最大限の特権を有する) LicenseServer をルートユーザーとして開始します。上記のステップは以下の理由のため必須ではなく、奨励されません。(i) 不利な点が存在しません。(ii) `altovalicenseserver` ユーザーには、LicenseServer を作動するために必要とされる全ての権利を有しており、これは個別の専用のユーザーのためです)。

メモ: LicenseServer を `altovalicenseserver` としてインタラクティブなモードで作動することもできます。CentOS 7 での例としては、以下のとおりデバッグを行うことができます: `sudo runuser -l altovalicenseserver -c '/opt/Altova/LicenseServer/bin/licenseserver debug'`。インタラクティブなモードの不利な点は、ターミナルセッションが閉じられると LicenseServer が作動を中止することです。

LicenseServer を作動する際のバックグラウンド情報

以下の点について注意してください:

- LicenseServer をデーモン (または、サービス) として作動することが奨励されます。インタラクティブなモードで LicenseServer を作動すると、ターミナルでのセッションが閉じられると作動が停止することに注意してください。
- LicenseServer をデーモンとして作動する場合、LicenseServer を `initctl` または `systemctl` コマンドを使用して管理することが最善策です。これらのコマンドは、ルートユーザーの特権を持つ場合のみ実行することができます。このため、非ルートユーザーとして作動している場合、ルートユーザー特権 (`sudo initctl...` と `sudo systemctl...`) を一時的に取得するために `sudo` コマンドを使用してください。
- LicenseServer がデーモンとして開始されると (i) インストール時に LicenseServer インストーラーにより作成され、(ii) LicenseServer を作動するためのすべての権利を有する

`altovalicenser` をユーザーとして自動的に作動します。詳細に関しては、[LicenseServer の開始](#) を参照してください。

ライセンスの割り当ての方法に関する情報は、[ライセンスの割り当て方法](#) のセクションを参照してください。

▼ LicenseServer のバージョンと他の Altova 製品との互換性

Altova サーバ製品の新しいバージョンは、サーバ製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバ製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

ですから、新しいバージョンの Altova サーバ製品をインストールする場合、現在の LicenseServer のバージョンが最新でない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、Altova Web サイトで利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。新しいバージョンの LicenseServer をインストールする際は、古いバージョンを新しいバージョンをインストールするまでにアンインストールします。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#) (全てのタブ)の下部に表示されます。

現在のバージョン: 2.7

1.5 インストール (macOS)

Altova LicenseServer は (Mac) OS X、macOS システムにインストールすることができます(下記のシステムの必要条件を参照してください)。前のバージョンがアンインストールする必要がある場合は、アンインストールを先に行ってください。

システムの必要条件

▼ (Mac) OS X、macOS

OS X 10.10、または以降

古いバージョン LicenseServer をアンインストールする方法

LicenseServer をアンインストールする前に、以下のコマンドでサービスを停止します:

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

サービスが停止されたか確認するには、アクティビティモニター ターミナルを開き、LicenseServer がリストにないことを確認します。

アプリケーションで、LicenseServer アイコンを右クリックし、「ごみ箱へ移動」を選択します。アプリケーションはごみ箱に移動されます。しかし、usr フォルダからアプリケーションを削除しなければなりません。このためには以下のコマンドを使用します:

```
sudo rm -rf /usr/local/Altova/LicenseServer
```

Altova LicenseServer のインストール

ダウンロードページ <http://www.altova.com/ja/download.html> を開き、Mac のためのサーバーソフトウェア製品の中から Altova LicenseServer を検索します。イメージ (.dmg) ファイルをダウンロード後、クリックして開きます。これにより新しい仮想ドライブがコンピューターにマウントされます。仮想ドライブで、パッケージ (.pkg) ファイルをダブルクリックして、画面上の指示に従います。手続きを続行するには、使用許可承諾書に同意する必要があります。

LicenseServer パッケージは以下のフォルダにインストールされます:

```
/usr/local/Altova/LicenseServer
```

`altovalicenser` という名前のユーザーが作成されます。LicenseServer はこのユーザーによりアクセスされる必要があります。

インストール後仮想ドライブを取り出すには、右クリックして、「取り出し」を選択します。

LicenseServer を作動する際のバックグラウンド情報

以下の点について注意してください:

- LicenseServer をデーモン (または、サービス) として作動することが奨励されます。インタラクティブなモードで LicenseServer を作動すると、ターミナルでのセッションが閉じられると作動が停止することに注意してください。
- LicenseServer をデーモンとして作動する場合、LicenseServer を `launchctl` コマンドを使用して管理することが最善策です。このコマンドは、ルートユーザーの特権を持つ場合のみ実行することができます。このため、非ルートユーザーとして作動している場合、ルートユーザー特権 (`sudo launchctl...`) を一時的に取得するために `sudo` コマンドを使用してください。
- LicenseServer がデーモンとして開始されると (i) インストール時に LicenseServer インストーラーにより作成され、(ii) LicenseServer を作動するためのすべての権利を有する `altovalicensesever` をユーザーとして自動的に作動します。詳細に関しては、[LicenseServer の開始](#) を参照してください。

インストール後に仮想ドライブから退出するには、右クリックし、「Eject」を選択します。

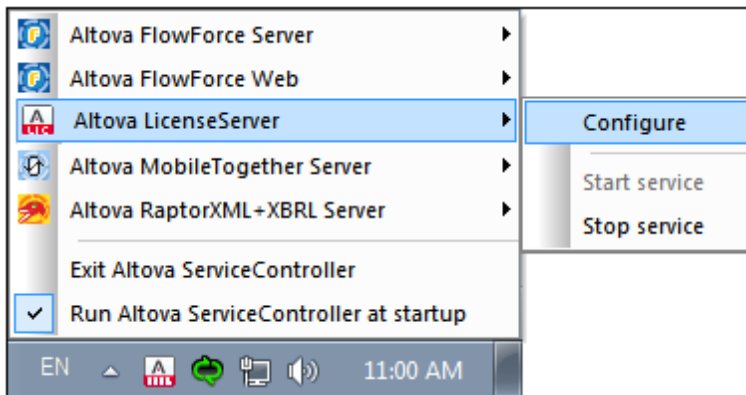
1.6 Altova ServiceController

Altova ServiceController (略してServiceController) は **Windows システム上で Altova サービスを便利に開始、停止、構成** できるアプリケーションです。

ServiceController は Altova LicenseServer とおよび サービスとしてインストールされる Altova サーバー製品 (FlowForce Server, RaptorXML(+XBRL) Server, and Mobile Together Server)と共にインストールされます。 **スタート | Altova LicenseServer | Altova ServiceController** をクリックして開始されます。(このコマンドは Altova サーバー製品がサービスとしてインストールされている (FlowForce Server, RaptorXML(+XBRL) Server, and Mobile Together Server) **スタートメニューフォルダー**でも利用可能です。) ServiceController が開始した後、システムトレイからアクセスすることができます。(下部スクリーンショット)。



システムログイン時に ServiceController の自動開始を指定するには、システムトレイの **ServiceController アイコン**をクリックして **ServiceController メニュー**を表示します(下部スクリーンショット)。 **スタートアップ時に Altova ServiceController を作動する(Run Altova ServiceController at Startup)** コマンドに切り替えます。(このコマンドはデフォルトで切り替えられています。) ServiceController を終了するには、システムトレイの **ServiceController アイコン**をクリックして、表示されるメニューから **Altova ServiceController の終了 (Exit Altova ServiceController)** をクリックします(下部スクリーンショット参照)。



サービスの開始と停止

インストールされた Altova サービスコンポーネントは ServiceController メニューでエントリとして表示されます(上部スクリーンショット参照)。 Altova サービスは ServiceController のサブメニューのコマンドを介して開始または停止することができます。更に、ServiceController メニューを介して、個別サービスの管理タスクにアクセスすることができます。上部のスクリーンショットでは、例えば、Altova LicenseServer サービスにはサブメニューがあり、「**構成**」(Configure) コマンドを介して LicenseServer の構成ページにアクセスすることを選択できます。

1.7 ライセンスの割り当て方法

Altova LicenseServer を使用して、Altova 製品にライセンスを与えるには以下の手順を踏んでください:

1. [LicenseServer の開始](#)
2. [Windows](#)、[Linux](#)、または [macOS](#) で LicenseServer の管理者のインターフェイスである [LicenseServer 構成ページ](#) を開きます。
3. Altova から、Altova LicenseServer のライセンスプールへ受信された [ライセンス](#) をアップロードします。LicenseServer 構成ページの [ライセンス プール \(License Pool\)](#) タブから行います。
4. Altova サーバー製品 ([FlowForce Server](#)、[MapForce Server](#)、[StyleVision Server](#)、[RaptorXML\(+XBRL\) Server](#)) を LicenseServer で [登録](#) します。製品の種類により LicenseServer への登録方法は異なります: 製品の Web UI またはコマンドラインを介しての登録。詳細に関しては、Altova サーバー製品のドキュメンテーションを参照してください。
5. [LicenseServer 構成ページ](#) の [クライアント管理](#) タブで、Altova 製品に [ライセンスの割り当て](#) を行うことができます。

コアとライセンスについてのメモ

Altova サーバー製品へのライセンスは製品マシンで使用可能なプロセッサ コアの数に基づいています。例えば、デュアル コア プロセッサはコアが 2 つ、クアッド コア プロセッサはコアが 4 つ、ヘキサ コア プロセッサはコアが 6 つ等々。特定のサーバーマシン上の製品にライセンスされたコアの数は、物理または仮想マシンで、サーバーで使用可能なコア数よりも多くまたは同数である必要があります。例えば、サーバーが 8 コア(オクタレ コア プロセッサ)の場合、少なくとも 8-コアライセンスを購入する必要があります。また、ライセンスを合計してコア数を満たすこともできます。2 つの 4-コアライセンスは、8-コアライセンスの代わりにオクタレ コア サーバーで使用できます。

大きい CPU コアを持つコンピューターサーバーを使用し、少量を処理する場合、少ないコアを割り当てる仮想マシンを作成し、その数のライセンスを購入することもできます。このようなデプロイは、もちろん、サーバーの全ての利用可能なコアが利用されている場合に比べ、処理スピードが落ちます。

メモ: 各 Altova サーバー製品のライセンスは、使用されていないライセンス容量があっても、1 度に 1 つのクライアントマシンにだけしか使用することができません。例えば 10-コアライセンスが 6 CPU コアのクライアントマシンに使用される場合、残りの 4 コアライセンスは他のマシンで同時に使用することができません。

MobileTogether Server ライセンス

サーバーマシンのコア数をベースにして MobileTogether Servers に割り当てられます。上の例を参照してください。上の説明を参照してください。コアライセンスは、無制限の数量の MobileTogether クライアントデバイスによりサーバーへの接続を許可します。しかしながら、「単一スレッドの実行」チェックボックスがチェックされていると 1 度に 1 つのクライアントマシンに接続できるモバイルデバイスは 1 台です。これは、評価と小さい規模のテストを行う際に役に立ちます。

1.7.1 LicenseServer の開始

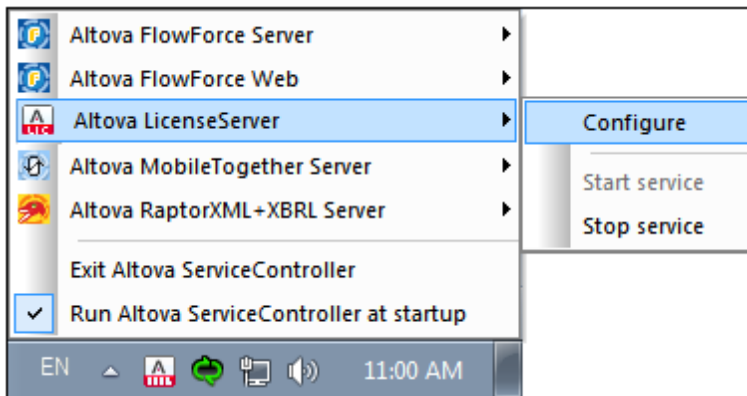
このセクション:

- [Windows システム](#) での LicenseServer の開始方法
- [Linux システム](#) での LicenseServer の開始方法
- [macOS システム](#) での LicenseServer の開始方法
- [altova.com への接続](#) についてのメモ

Windows システム

システムトレイにある Altova ServiceController を介して、LicenseServer を開始します。

最初に、「スタート | すべてのプログラム | Altova LicenseServer | Altova ServiceController」をクリックして、Altova ServiceController を開始して、システムトレイのアイコンを表示します（下のスクリーンショット参照）。スタートアップオプションで Altova ServiceController の実行を選択すると Altova ServiceController が開始し、システムトレイにアイコンが利用可能になります。



LicenseServer を開始するには、システムトレイのサービスコントローラー(ServiceController) アイコンをクリックします。ポップアップしたメニューの **Altova LicenseServer** をポイントして、(下のスクリーンショット参照)、LicenseServer サブメニューから「サービスの開始」(**Start Service**)を選択します。LicenseServer が既に作動している場合、Start Service オプションは無効化されます。

Linux システム

LicenseServer をサービスとして Linux システムで開始するには、ターミナルウィンドウで以下のコマンドを実行します:

```
[Debian 7]:          sudo /etc/init.d/licenseserver start
[Debian 8]:          sudo systemctl start licenseserver
[Ubuntu <=14]:       sudo initctl start licenseserver
[Ubuntu 15]:         sudo systemctl start licenseserver
[CentOS 6]:          sudo initctl start licenseserver
[CentOS 7]:          sudo systemctl start licenseserver
[RedHat]:            sudo initctl start licenseserver
```

(LicenseServer を停止する必要がある場合、上記のコマンドの `start` を `stop` と置換えてください。)

詳細に関しては、次を参照してください: [インストール \(Linux\)](#)。

macOS システム

LicenseServer をサービスとして macOS システムで開始するには、ターミナルウィンドウで以下のコマンドを実行します:

```
sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

LicenseServer を停止する必要がある場合、以下を使用します:

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

詳細に関しては、次を参照してください: [インストール \(macOS\)](#)。

altova.com のマスターライセンスサーバーへの接続

Altova LicenseServer は、ライセンスに関連したデータを検証と認証し、Altova ライセンス使用許諾契約書への継続的な遵守を確認するため、altova.com のマスター Licensing Server と通信する必要があります。この通信は HTTPS を介して、ポート 443 を使用して行われます。altova.com のマスター Licensing Server との最初の検証の後、Altova LicenseServer が altova.com と 5 日間 (= 120 時間)、再接続できない場合、Altova LicenseServer は Altova LicenseServer に接続して Altova ソフトウェア製品を使用することを許可しません。

Altova マスターサーバーへの接続損失は [Altova LicenseServer の構成ページのメッセージ \(Messages\) タブ](#) にログされます。更に、管理者は、altova.com への接続が失われた場合、自動的に警告の電子メールを送信するように Altova LicenseServer を構成することができます。電子メールの設定の変更は、[構成ページの設定 タブ](#)で行うことができます。

1.7.2 LicenseServer の構成ページの開きかた (Windows)

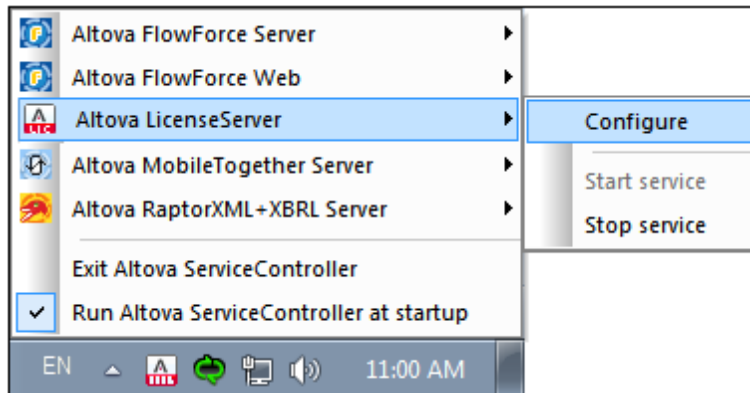
このセクション:

- [LicenseServer が同じコンピューターにある場合の構成ページの開きかた](#)
- [LicenseServer が他のコンピューターにある場合の構成ページの開きかた](#)
- [初回パスワードでのログイン](#)
- [構成ページの固定ポートの設定](#)

LicenseServer が同じコンピューターにある場合の構成ページの開きかた

Windows システムで、LicenseServer が既にコンピューターにある場合、LicenseServer の[構成ページ](#)を2通りの方法で開くことができます:

- 「スタート | すべてのプログラム | Altova LicenseServer | LicenseServer 構成ページ (Configuration Page)」をクリックします。構成ページはインターネットブラウザの新しいタブとして開かれます。
- システムトレイの Altova ServiceController アイコンをクリックします。ポップアップしたメニューの **Altova LicenseServer** (下のスクリーンショット参照) をポイントして「**構成**」(Configure) を LicenseServer サブメニューから選択します。



[構成ページ](#)は新しいブラウザウィンドウで開かれ、ログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

LicenseServer が他のコンピューターにある場合の設定ページの開きかた

LicenseServer [構成ページ](#)をローカルネットワークの(LicenseServer がインストールされている)他の Windows マシンから開く場合、ブラウザのアドレスバーに LicenseServer [構成ページ](#) URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL 以下の通りです:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `WebUI.html` という名前の URL は以下で見つけることができます:

```
C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html
```

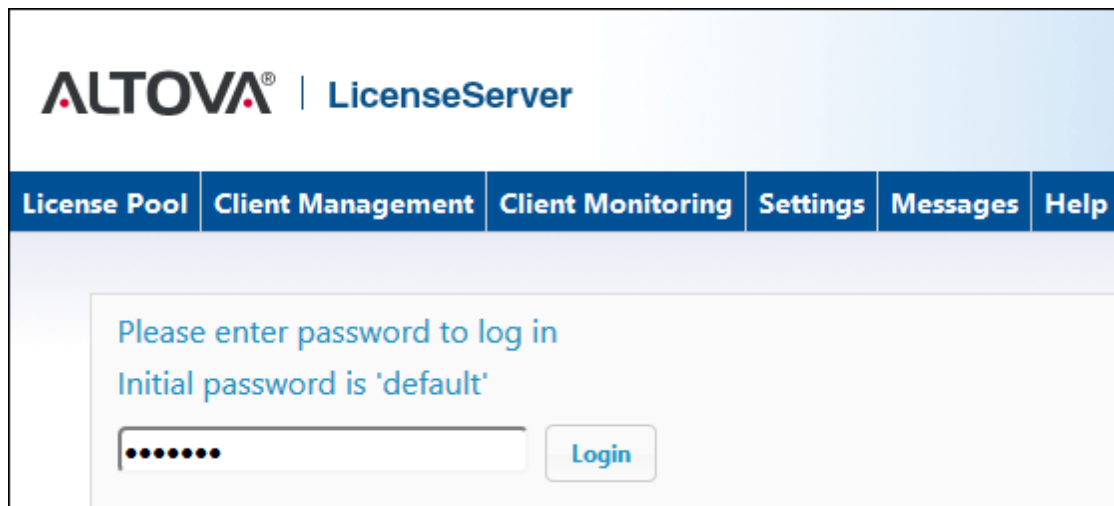
[構成ページの URL の設定](#) を動的に生成した場合、(構成ページの設定タブで)、LicenseServer を開始する都度、新しい URL が生成されます。WebUI.html の現在のバージョンをチェックして、[構成ページ](#)の現在の URL を確認してください。

WebUI.html 内で動的に生成された URL は以下のようなフォームで表示されます:

http://127.0.0.1:55541/optionally-an-additional-string、<head> 要素の終わり近くのスクリプト内の関数 checkIfServiceRunning() にあります。URL 内のポート番号のみが動的に割り当てられますが、IP アドレスは部分的に LicenseServer がインストールされたサーバーを識別します。LicenseServer [構成ページ](#) を他のマシンからアクセスする場合、URL の IP アドレスが LicenseServer がインストールされているサーバーの正確な IP アドレスまたは名前であることを確認してください。例えば、URL は以下ようになります: http://SomeServer:55541。

初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#)のログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード default でログインすることができます。ログインした後、[設定 \(Settings\)](#) タブでパスワードを変更することができます。



構成ページの固定または動的ポートの設定

構成ページ (Web UI) のポート? と結果的にアドレス? は [設定 \(Settings\) ページ](#) にて指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#) (下のスクリーンショット参照) の他のポートを設定することもできます。また、LicenseServer が開始されるたびにポートを動的に選択することも許可されています。この場合、構成ページの URL をファイル WebUI.html から検索する必要があります。([LicenseServer 構成ページ \(Windows\) を開く](#)、[LicenseServer 構成ページを開く \(Linux\)](#) と [LicenseServer 構成ページを開く \(macOS\)](#))。

Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

固定ポートの利点は、ページ URL が事前に把握することができ、そのため、簡単にアクセスすることができます。ポートが動的に割り当てられる場合、URL のポートの部分は LicenseServer が開始されるたびにをファイル `WebUI.html` から検索される必要があります。

1.7.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Linux)

このセクション:

- [返された URL で構成ページを初めて開く](#)
- [LicenseServer 構成ページの URL](#)
- [初回パスワードでのログイン](#)
- [ページ構成ページの固定ポートの設定](#)

返された URL で構成ページを初めて開く

Linux システムでは、CLI を介して LicenseServer に Altova サーバー製品を登録した場合、LicenseServer の構成ページの URL が返されます。ブラウザでこの URL を開く際、ライセンス使用許諾契約書を読んで合意するようにプロンプトされます。ライセンス使用許諾契約書に合意した後、構成ページのログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

メモ: Altova デスクトップ製品は、Windows のみで使用することができます。

LicenseServer 構成ページの URL

LicenseServer [構成ページ](#) 開くには、アドレスバーに URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL は以下の通りです:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `webUI.html` という名前の URL は以下で見つけることができます:

```
/var/opt/Altova/LicenseServer/webUI.html
```

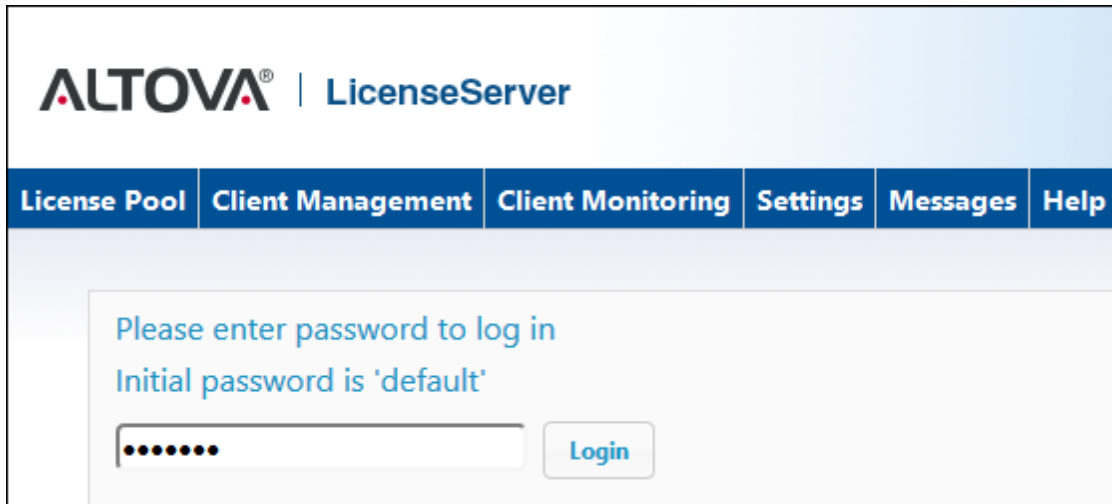
[構成ページの URL の設定](#) を動的に生成した場合、(構成ページの設定タブで)、LicenseServer を開始する都度、新しい URL が生成されます。 `webUI.html` の現在のバージョンをチェックして、[構成ページ](#) の現在の URL を確認してください。

`webUI.html` 内で動的に生成された URL は以下のようなフォームで表示されます:

```
http://127.0.0.1:55541。 <head> 要素の終わり近くのスクリプト内の関数  
checkIfServiceRunning() にあります。 URL 内のポート番号のみが動的に割り当てられますが、IP  
アドレスは部分的に LicenseServer がインストールされたサーバーを識別します。 LicenseServer 構  
成ページ を他のマシンからアクセスする場合、URL の IP アドレスが LicenseServer がインストールさ  
れているサーバーの正確な IP アドレスまたは名前であることを確認してください。例えば、URL は以  
下ようになります: http://MyServer:55541。
```

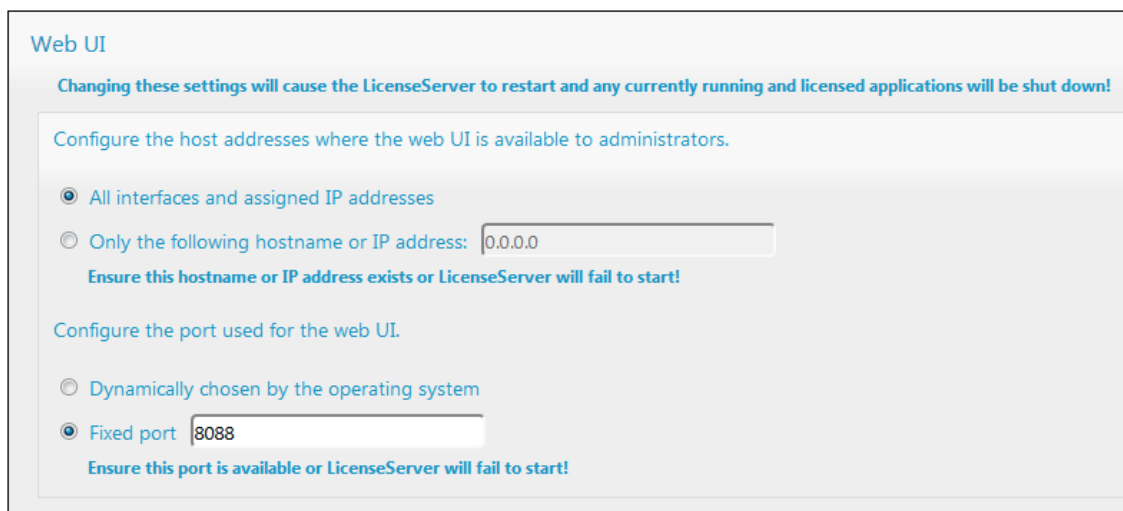
初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#) のログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード `default` でログインすることができます。ログインした後、[設定 \(Settings\)](#) タブでパスワードを変更することができます。



構成ページの固定または動的ポートの設定

構成ページ (Web UI) のポート? と結果的にアドレス? は [設定 \(Settings\) ページ](#) にて指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#) (下のスクリーンショット参照) の他のポートを設定することもできます。また、LicenseServer が開始されるたびにポートを動的に選択することも許可されています。この場合、構成ページの URL をファイル `WebUI.html` から検索する必要があります。([LicenseServer 構成ページ \(Windows\) を開く](#)、[LicenseServer 構成ページを開く \(Linux\)](#) と [LicenseServer 構成ページを開く \(macOS\)](#))。



固定ポートの利点は、ページ URL が事前に把握することができ、そのため、簡単にアクセスすることができます。ポートが動的に割り当てられる場合、URL のポートの部分は LicenseServer が開始されるたびに `WebUI.html` から検索される必要があります。

1.7.4 LicenseServer の構成ページの開きかた (macOS)

このセクション:

- [返された URL で構成ページを初回開く](#)
- [LicenseServer 構成ページの URL](#)
- [初回パスワードでのログイン](#)
- [構成ページの固定ポートの設定](#)

返された URL で構成ページを初回開く

macOS システムでは、CLI を介して LicenseServer に Altova サーバー製品を登録した場合、LicenseServer の構成ページの URL が返されます。ブラウザでこの URL を開く際、ライセンス使用許諾契約書を読んで合意するようにプロンプトされます。ライセンス使用許諾契約書に合意した後、構成ページのログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

メモ: Altova デスクトップ製品は、Windows のみで使用することができます。

LicenseServer 構成ページの URL

LicenseServer [構成ページ](#) 開くには、アドレスバーに URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL は以下の通りです:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `webUI.html` という名前の URL は以下で見つけることができます:

```
/var/Altova/LicenseServer/webUI.html
```

[構成ページの URL の設定](#) を動的に生成した場合、(構成ページの設定タブで)、LicenseServer を開始する都度、新しい URL が生成されます。 `webUI.html` の現在のバージョンをチェックして、[構成ページ](#) の現在の URL を確認してください。

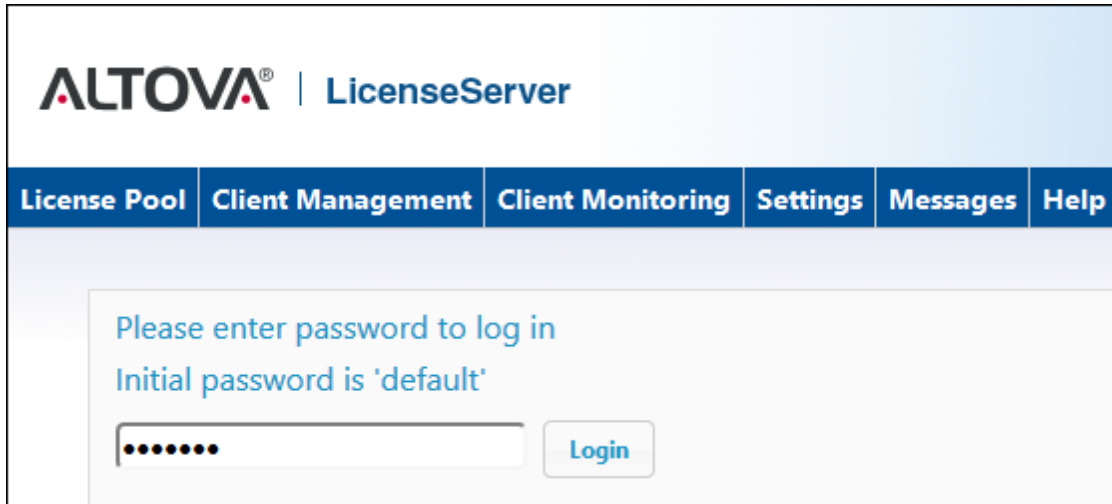
`webUI.html` 内で動的に生成された URL は以下のようなフォームで表示されます:

```
http://127.0.0.1:55541。 <head> 要素の終わり近くのスクリプト内の関数  
checkIfServiceRunning()にあります。 URL 内のポート番号のみが動的に割り当てられますが、IP  
アドレスは部分的に LicenseServer がインストールされたサーバーを識別します。 LicenseServer 構  
成ページ を他のマシンからアクセスする場合、URL の IP アドレスが LicenseServer がインストールさ  
れているサーバーの正確な IP アドレスまたは名前であることを確認してください。例えば、URL は以  
下ようになります: http://MyServer:55541。
```

メモ: [構成ページ](#) はまた、「**ファインダー | アプリケーション | Altova License Server**」アイコンを介してアクセスすることができます。

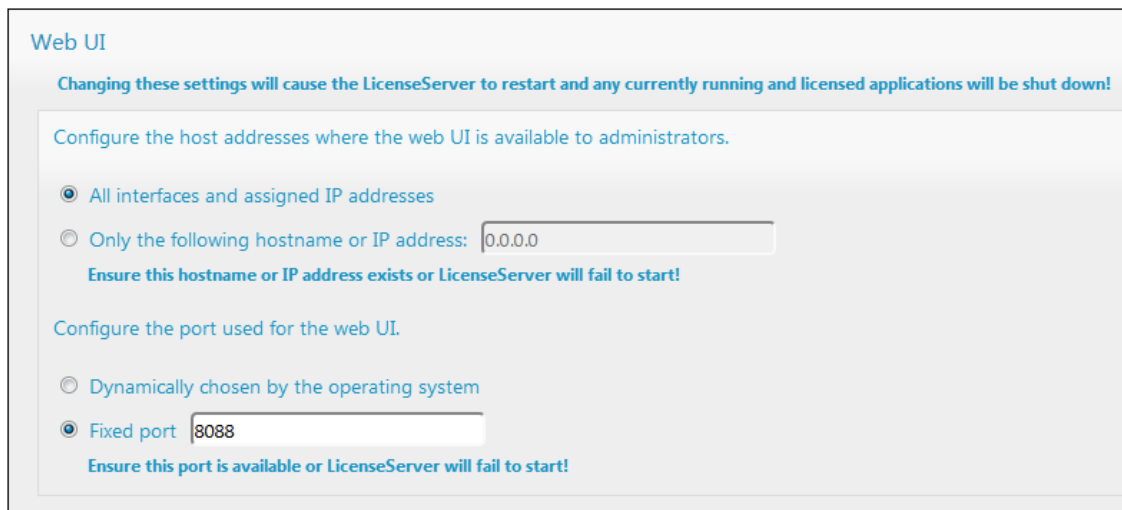
初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#)のログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード default でログインすることができます。ログインした後、[設定 \(Settings\)](#) タブでパスワードを変更することができます。



構成ページの固定または動的ポートの設定

構成ページ (Web UI)のポート? と結果的にアドレス? は[設定 \(Settings\) ページ](#)にて指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#) (下のスクリーンショット参照)の他のポートを設定することもできます。また、LicenseServer が開始されるたびにポートを動的に選択することも許可されています。この場合、構成ページの URL をファイル WebUI.html から検索する必要があります。(LicenseServer [構成ページ \(Windows\) を開く](#)、[LicenseServer 構成ページを開く \(Linux\)](#) と [LicenseServer 構成ページを開く \(macOS\)](#))。



固定ポートの利点は、ページ URL が事前に把握することができ、そのため、簡単にアクセスすること

ができます。ポートが動的に割り当てられる場合、URL のポートの部分は LicenseServer が開始されるたびにをファイル `WebUI.html` から検索される必要があります。

1.7.5 ライセンスの LicenseServer へのアップロード

このセクション:

- [ライセンスを LicenseServer のライセンスプールへアップロード](#)
- [License 状態](#)
- [使用を希望するライセンスのアクティブ化](#)
- [次のステップ](#)

ライセンスのを LicenseServer のライセンス プールへアップロード

Altova からライセンスを取得した後、ライセンスを Altova LicenseServer にアップロードする必要があります。各ライセンスファイルは購入により1つ以上のライセンスを含みます。ライセンスファイルをアップロードする際、ファイルのすべてのライセンスが LicenseServer のライセンスプールにアップロードされ、LicenseServer に登録された Altova 製品に割り当てられます。アップロードされた1つまたは1以上のライセンスファイルからの Altova 製品のライセンスは、すべて LicenseServer の1つのライセンスプールに収集されます。ライセンスプールは LicenseServer の構成 ページのライセンスプールタブに表示されます(下のスクリーンショット)。

ライセンスはライセンスプールタブのアップロード機能を使用して LicenseServer にアップロードされます(スクリーンショット参照)。

Status	Name	Company	Product	Edition	Version	Key Code	Bundle ID	Start Date	End Date	Expires in days	SMP days left	#	License Type	Clients
<input type="checkbox"/>			All Products	All	All									
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	DatabaseS...	Enterprise Editi	2015 rel. 4	GWS36BI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed User	0/50 users
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	FlowForce Ser		2015 rel. 4	9FUJUP0P-	-	2015-05	-	-	328	8	CPU Cores	1/50 machir
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	MapForce	Enterprise Editi	2015 rel. 4	BCEB4BI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed User	0/50 users
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	MapForce Ser		2015 rel. 4	23A8TT1-	-	2015-05	-	-	328	8	CPU Cores	1/50 machir
<input checked="" type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	RaptorXML+X		2015 rel. 4	M2L0CMY-	-	2015-05	-	-	328	16	CPU Cores	running assigned
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	RaptorXML Se		2015 rel. 4	847AXW4-	-	2015-05	-	-	328	16	CPU Cores	
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	SchemaAg...		2015 rel. 4	GWVBWBI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed User	0/50 users

ライセンスファイルは、ライセンスプール (License Pool) タブのライセンスファイルのアップロード (Upload License File) 機能を使用して、LicenseServer にアップロードされます(上のスクリーンショット参照)。「参照」(Browse) ボタンをクリックして希望するライセンスファイルを選択します。ライセンスファイルのアップロード (Upload License File) テキスト フィールドにライセンス ファイルが表示され、「アップロード」(Upload) ボタンが有効化されます。「アップロード」(Upload) ボタンをクリックしてライセンス ファイルをアップロードします。ファイルの全てのライセンスは、アップロードされライセンスプールタブに表示されます。下のスクリーンショットは、複数のライセンスファイルからアップロードされた複数のライセンスを表示しています。

ライセンスの状態

ライセンスの状態の値は以下の通りです:

- アクティブ化:** ライセンスが、LicenseServer のライセンスプールにアップロードされると、サーバーはライセンスに関連したデータを `altova.com` マスターライセンスサーバーに、検証、認証、与えられたライセンスをアクティブ化するために送信します。これは、Altova ライセンス使用許諾契約書への順守を確認するために必要です。通常 30 秒から数分かかる、初回アクティブ化と認証トランザクション中、インターネットの接続スピードとネットワークの交通量にもよりますが、ライセンスの状態は **アクティブ化 (Activating...)** と表示されます。
- 失敗した検証:** `altova.com` マスターライセンスサーバーへの接続が確立しなかった場合、プール内のライセンスの状態は **失敗した検証 (Failed Verification)** と表示されます。これは起こり得ることで、インターネットの接続とファイアウォールのルールを確認して、LicenseServer が `altova.com` マスターライセンスサーバーと通信できるように確認してください。
- アクティブ:** ライセンスが認証されてアクティブ化されると、状態は **アクティブ (Active)** に変更されます。
- 非アクティブ:** ライセンスは検証されたが、ネットワークの他の LicenseServer に存在する場合、状態は **非アクティブ (Inactive)** と表示されます。非アクティブ状態は、管理者がライセンスプール内でのライセンスを手動で非アクティブ化に設定した際におこります。
- 保留:** ライセンスの開始の日付が未来の日付である場合、ライセンスは **保留** として表示されます。00:00 時に有効化にステータスが変更されます。この状態は、製品に割り当てることができ、現在のライセンスの有効期限が切れた場合でも、製品に対するライセンスが、継続されることを保証します。新規のライセンスへの変更は、スムーズな変換であり、クライアントプロセスを実行する必要はありません。
- ブロックされた:** ライセンスの認証に問題がある場合、ライセンスは **ブロックされた (Blocked)** と表示されます。また、`altova.com` マスターライセンスサービスがこのライセンスを使用する許可を与えていない場合も表示されます。これはライセンスの過剰使用、またはコンプライアンスの問題などのため、のライセンス使用許諾の違反になる可能性があります。問題を解決すると、ライセンスを削除、再アップロード、再度アクティブ化します。追加情報に関しては下記を参照してください。

これらの状態は以下のテーブルにまとめられています:

状態	意味
アクティブ化 Activating...	アップロードする際、ライセンスの情報は <code>altova.com</code> に検証のために送信されます。アップデータされた状態を確認するためにブラウザを更新してください。検証とアクティブ化は数分かかります。
失敗した検証 Failed Verification	<code>altova.com</code> への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開するか、(「 Activate 」ボタンを使用して)ライセンスをアクティブ化します。
アクティブ Active	検証に成功し、ライセンスはアクティブ化されました。

非アクティブ <i>Inactive</i>	検証には成功しましたが、ライセンスがネットワークの他の LicenseServer に存在します。ライセンスは「Deactivate」ボタンにより非アクティブ化することができます。
保留中 <i>Pending</i>	保留中のライセンスには、開始と終了の日付が存在し、開始日にアクティブに切り替えられます。製品に割り当てることが出来、ライセンスの有効期限が切れる前に製品のライセンスの自動更新をおこなうことができます。
ブロックされた <i>Blocked</i>	検証が成功しませんでした。ライセンスは無効でブロックされています。 Altova サポート に連絡してください。ライセンスをブロックしている問題が解決されるとライセンスを削除、再ロード、またはライセンスをアクティブに設定することができます。ライセンスが更新される都度、新規の検証を開始する Altova マスターサーバーに通信します。再度アップロードを行わない場合、ライセンスの検証は、計画されている Altova マスターサーバーとの通信まで保留になり、同日に発生しない場合があります。

メモ: ライセンスが altova.com に検証のため送信された後、アップデートされた状態を確認するためにブラウザを更新する必要があります。検証とアクティブ化は数分かかります。

メモ: altova.com への接続が確立しない場合、状態は失敗した検証 (*Failed Verification*) と表示されます。接続を確立した後、への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開始するか、(「Activate」ボタンを使用して)ライセンスをアクティブ化します。

メモ: ライセンス状態が非アクティブまたはブロックされたと表示されている場合、ステータスを説明したメッセージがメッセージログに追加されます。

製品のインストールにはアクティブな、または、保留されているライセンスのみを割り当てることができます。非アクティブなライセンスはアクティブ化されるか、またはライセンスプールから削除することができます。ライセンスがライセンスプールから削除された場合、ライセンスファイルを再度アップロードすることでアップロードできます。ライセンスファイルがアップデートされると、プールに存在しないライセンスのみがアップロードされます。ライセンスをアクティブ化、非アクティブ化、または削除するには、それぞれ、「Activate」、「Deactivate」または「Delete」ボタンをクリックしてください。

使用を希望するライセンスのアクティブ化

Altova 製品へライセンスを割り当てる前に、ライセンスをアクティブ化する必要があります。ライセンスがアクティブ化されていることを確認してください。非アクティブの場合、選択して「アクティブ化」(Activate) してください。

次のステップ

LicenseServer にライセンスファイルをアップロードし、希望するライセンスがアクティブ化されていることを確認した後、以下を行います:

1. Altova サーバー製品 ([FlowForce Server](#)、[MapForce Server](#)、[StyleVision Server](#)) を LicenseServer に登録する。(ライセンスファイルのアップロード前にこの手順を既に済ませている場合、ライセンスの割り当てを開始することができます。)
2. LicenseServer に登録された Altova 製品に[ライセンスの割り当て](#)を行います。

1.7.6 製品の登録

Altova サーバー製品に[ライセンスの割り当て](#)る前に、LicenseServer に製品のインストールを登録しなければなりません。Altova サーバー製品から登録がされ、Web UI があるサーバー製品と、コマンドラインのみで動作する製品ではプロセスが異なります。登録を実行するには、LicenseServer がインストールされているマシンのサーバー名または IP アドレスが必要です。

- **デスクトップ製品**: ソフトウェアのライセンス認証ダイアログを使用して、登録が行われます。
- **Web UI を持つサーバー製品**: FlowForce Server と MobileTogether Server の登録は、Web UI の **セットアップ** タブまたは製品の CLI により行うことができます。
- **Web UI を持たないサーバー製品**: MapForceServer、RaptorXML(+XBRL) Server、と StyleVisionServer の登録は、これらの製品の CLI を使用して行います。LicenseServer がインストールされているマシンのサーバー名または IP アドレスが登録のために必要になります。

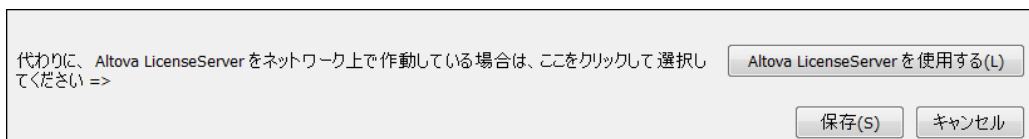
異なる Altova サーバー製品の登録方法を説明します:

- [Altova デスクトップ製品の登録](#)
- [FlowForce Server の登録](#)
- [MapForce Server の登録](#)
- [MobileTogether Server の登録](#)
- [RaptorXML\(+XBRL\) Server の登録](#)
- [StyleVision Server の登録](#)

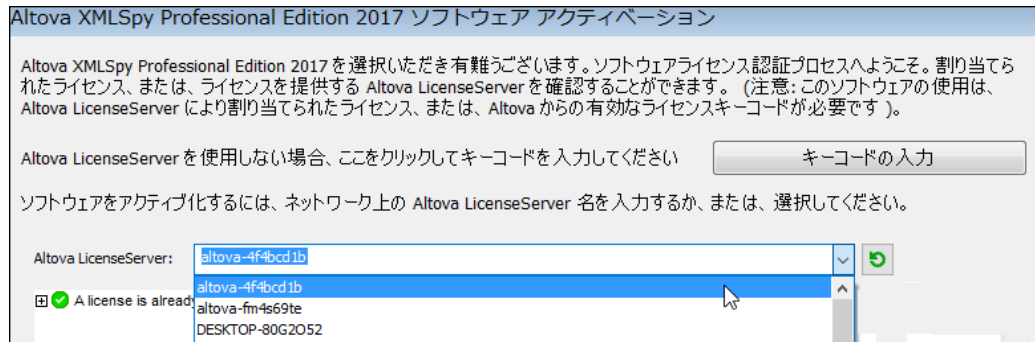
Altova デスクトップ製品の登録

Altova LicenseServer に Altova デスクトップ製品を登録するには、以下を行います:

1. メニューコマンド「**ヘルプ | ソフトウェアのライセンスの認証**」を選択して、製品のソフトウェアライセンス認証ダイアログに移動します。ライセンスの承認は、(i) Altova LicenseServer を使用して、または、(ii) キーコードの詳細を入力しておこなうことができます。このドキュメントでは、Altova LicenseServer を使用した場合のライセンスの認証について説明します。
2. LicenseServer を使用して製品のライセンスの認証をおこなうには、(ダイアログの下にある)「**Altova LicenseServer を使用する**」をクリックします(下のスクリーンショットを参照してください)。



3. これによりダイアログが LicenseServer のライセンス認証モードに切り替えられます(下のスクリーンショット参照)。Altova LicenseServer コンボボックスのドロップダウンリストから、LicenseServer を選択します。



選択された LicenseServer への接続が構築されると、製品はすぐに選択された LicenseServer に登録されます。[クライアント管理タブ](#)、内で使用中の製品リストに製品が表示されます。

デスクトップ製品の登録解除

デスクトップ製品の登録を解除するには、LicenseServer の [クライアント管理タブ](#) に移動し、製品のライセンスペイン内の右側にある製品の「製品の登録解除」ボタンをクリックします。

FlowForce Server の登録

このセクション:

- [LicenseServer に FlowForce Server を登録する方法](#)
- [FlowForce Server セットアップページへのアクセス \(Windows\)](#)
- [FlowForce Server セットアップページへのアクセス \(Linux\)](#)
- [セットアップページを介しての FlowForce Server の登録](#)
- [FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 \(Windows\)](#)
- [FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 \(Linux\)](#)
- [次のステップ](#)

LicenseServer に FlowForce Server を登録する方法

FlowForce Server の LicenseServer への登録は以下の方法が使用できます:

- [FlowForce Server セットアップページを介して](#)
- [FlowForce CLI を介して\(Windows\)](#)
- [FlowForce CLI を介して\(Linux\)](#)

FlowForce Server セットアップページへのアクセス (Windows)

FlowForce Server セットアップページへは以下の方法でアクセスできます:

- **スタートメニューから:**
スタート | Altova FlowForce Server 2018 | FlowForce Server セットアップページ

- [Altova ServiceController](#)から: システムトレイの ServiceController アイコンをクリックします。ポップアップしたメニューから *Altova FlowForce Web | Setup* を選択します。

FlowForce Server セットアップページ(上部 スクリーンショット) がポップアップします。

FlowForce Server セットアップページへのアクセス (Linux)

Linux に FlowForce Server をインストールした後、(手順に関しては FlowForce Server ユーザードキュメンテーションを参照してください)。以下のコマンドを使用して FlowForce Web Server をサービスとして開始します:

```
sudo /etc/init.d/flowforcewebserver start
```

FlowForce Server の URL を含んだメッセージがターミナルウィンドウに表示されます:

```
FlowForceWeb running on http://127.0.1.1:3459/setup?key=52239315203
```

アドレスフィールドに URL を入力して、FlowForce Server セットアップページにアクセスするために「Enter」を押します。(下のスクリーンショット)。

セットアップページを介しての FlowForce Server の登録

セットアップページ(下のスクリーンショット)へのアクセス方法は上記されています? LicenseServer フィールドは Altova LicenseServer を登録するために指定されています。

ALTOVA®
FlowForce®
SERVER 2014

Home Help

Setup

LicenseServer

Enter address here or search for LicenseServer

FlowForce Web Server

Bind address: All interfaces (0.0.0.0) ▼ 127.0.0.1 Port: 8082

Default time zone: Europe/Berlin ▼

FlowForce Server

Bind address: All interfaces (0.0.0.0) ▼ 127.0.0.1 Port: 4646

LicenseServer 以下の 2 つの方法で指定できます。

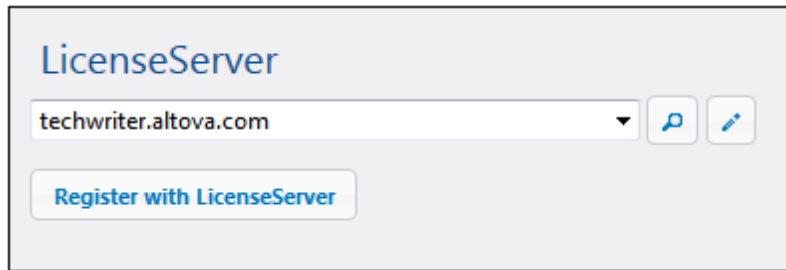
- 現在ネットワークで使用可能な、つまり現在作動している、Altova LicenseServers を検索することができます。この手順は、「**Altova LicenseServers 検索**」(Search for Altova LicenseServers) ボタンをクリックすることで実行できます (下のスクリーンショットで黄色にハイライトされています)。

LicenseServer

Enter address here or search for LicenseServer

検索によりネットワーク上で使用可能な Altova LicenseServers のリストが返されます。1 つの LicenseServer が選択され、(下のスクリーンショット) 他はコンボボックスのドロップダウンリストで使用可能です。FlowForce ライセンスが保管されている LicenseServer を選択しま

す。



- または、LicenseServer のアドレスを LicenseServer のフィールドに入力します。現在作動するがドロップダウンリストで使用可能な場合、**「手動でアドレスを入力」(Manually Enter Address)** ボタンをクリックして、LicenseServer フィールドにアドレスを入力することができます。

LicenseServer を指定した後、**「LicenseServer により登録」(Register with LicenseServer)** をクリックします。指定された LicenseServer により、サーバーアプリケーションが登録され LicenseServer の [構成 ページのクライアント管理 タブ](#) がブラウザで開かれます(下のスクリーンショット)。

メモ: LicenseServer 構成 ページを表示するためにポップアップを許可しなければならないかもしれません。

The screenshot displays the Altova LicenseServer interface. At the top, the logo 'ALTOVA® | LicenseServer' is visible. Below it is a navigation bar with tabs: 'License Pool', 'Server Management', 'Server Monitoring', 'Settings', 'Messages(0)', 'Log Out', and 'Help'. A dropdown menu is open, showing 'DOC.altova.com'. The main content area lists three servers:

- Altova FlowForce Server 2014**: This server has 2 CPU core(s). Licenses for 2 CPU core(s) are required. Limit to single thread execution. Max licensed CPU cores: 0.
- Altova StyleVision Server 2014**: This server has 2 CPU core(s). Licenses for 2 CPU core(s) are required. Limit to single thread execution. Max licensed CPU cores: 0.
- Altova MapForce Server 2014**: This server has 2 CPU core(s). Licenses for 2 CPU core(s) are required. Limit to single thread execution. Max licensed CPU cores: 0.

At the bottom of the server list, there are two buttons: 'Request evaluation licenses' and 'Unregister server and all products'.

上部のスクリーンショットでは、3つの製品が `DOC.altova.com` の Altova LicenseServer に登録されています。ライセンスの割り当て方法に関しては、次のセクション [登録された製品へのライセンスの割り当て](#) で説明されています。

FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 (Windows)

Windows マシンでは、FlowForce Server は `licenseserver` コマンドを使用し、コマンドライン(CLI)を介してネットワーク上の Altova LicenseServer に登録することができます:

```
FlowForceServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が `http://localhost:8088` で作動している場合、FlowForce Server を以下で登録します:

```
FlowForceServer licenseserver localhost
```

FlowForce Server が他のサーバー製品のサブパッケージとしてインストールされている場合、FlowForce Server の登録は自動的に Altova サーバー製品も登録します。FlowForce Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、FlowForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)のセクションに説明されています。

FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、FlowForce Server は FlowForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。FlowForce Server はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/FlowForceServer2018/bin/flowforceserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。FlowForce Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/MapForceServer2018/bin
```

FlowForce Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、FlowForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)のセクションに説明されています。

次のステップ

Altova 製品を LicenseServer に登録した後、以下を行ってください:

1. LicenseServer にまだライセンスファイルをアップロードしていない場合、(前述のセクション [ライセンスのアップロード](#)を参照してください)、ライセンスファイルをアップロードし、アクティブ化したライセンスをチェックします。既に、この手順が済んでいる場合、次のステップ[ライセンスの割り当て](#)に進んでください。
2. LicenseServer に既に登録されている Altova 製品に[ライセンスの割り当て](#)を行ってください。

MapForce Server の登録

このセクション:

- [FlowForce Server からの MapForce Server の登録 \(Windows\)](#)
- [スタンドアロンの MapForce Server の登録 \(Windows\)](#)
- [MapForce Server の登録 \(Linux\)](#)
- [次のステップ](#)

MapForce Server は FlowForce Server の一部として、またスタンドアロンのサーバー製品としてインストールすることができます。どちらの場合でも、Altova LicenseServer に登録されなければなりません。

ん。LicenseServer に登録された後のみ、LicenseServer から[ライセンスが割り当てられます](#)。
Windows システムでは、MapForce Server が FlowForce Server の一部としてインストールされる場合、FlowForce が登録される際自動的に登録されます。Linux システムでは、MapForce Server が FlowForce Server の後にインストールされる場合、FlowForce Server が登録される際に自動的に登録されます。MapForce Server が FlowForce Server の前にインストールされると、両方の製品を個別に登録する必要があります。

FlowForce Server からの MapForce Server の登録 (Windows)

MapForce Server は FlowForce Server にパッケージされており、FlowForce Server がネットワークの Altova LicenseServer に登録されている場合、MapForce Server は自動的に LicenseServer に登録されます。FlowForce Server の登録方法は、のドキュメンテーションの[LicenseServer に FlowForce Server を登録する](#)セクションに説明されています。

登録の後、LicenseServer に移動して MapForce Server ライセンスを MapForce Server に割り当てます。手順は [登録された製品にライセンスを割り当てる](#)セクションに説明されています。

スタンドアロンの MapForce Server の登録 (Windows)

MapForce Server をスタンドアロン パッケージとしてインストールした場合、ネットワークの Altova LicenseServer に登録し、Altova LicenseServer からライセンスを与える必要があります。MapForce Server を コマンドラインインターフェイス(CLI) 介して `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます:

```
MapForceServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合、`http://localhost:8088`、MapForce Server を以下で登録します:

```
MapForceServer licenseserver localhost
```

MapForce Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、MapForce Server にライセンスを割り当てます。手順はセクション[登録された製品にライセンスを割り当てる](#)に説明されています。

MapForce Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、MapForce Server を LicenseServer に MapForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。MapForce Server はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/MapForceServer2018/bin/mapforceserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。

MapForce Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/MapForceServer2018/bin
```

MapForce Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、MapForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)のセクションに説明されています。

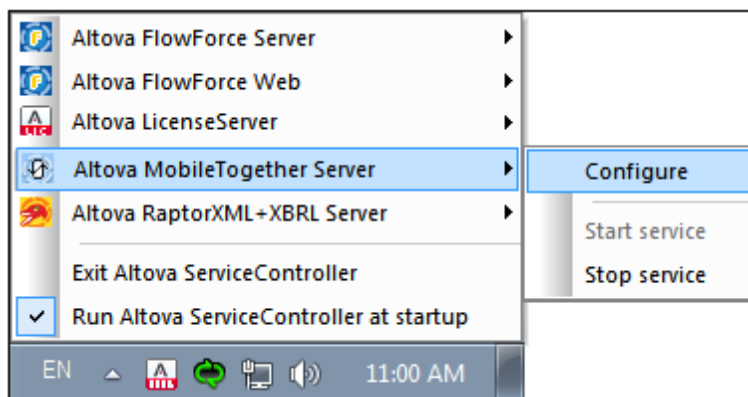
次のステップ

Altova 製品を LicenseServer に登録した後、以下を行ってください:

1. LicenseServer にまだライセンスファイルをアップロードしていない場合、(前述のセクション [ライセンスのアップロード](#)を参照してください)、ライセンスファイルをアップロードし、アクティブ化したライセンスをチェックします。既に、この手順が済んでいる場合、次のステップ[ライセンスの割り当て](#)に進んでください。
2. LicenseServer に既に登録されている Altova 製品に[ライセンスの割り当て](#)を行ってください。

MobileTogether Server の登録

MobileTogether Server を開始するには、システムトレイの「ServiceController」アイコンをクリックします。ポップアップしたメニュー **Altova MobileTogether Server** をポイントし、(下のスクリーンショット参照)、MobileTogether Server サブメニューから「サービスの開始」(Start Service)を選択します。MobileTogether Server が既に作動している場合、サービスの開始 (Start Service) オプションは無効化されます。



MobileTogether Server の登録:

- MobileTogether Server Web UI の設定タブ: (i) ServiceController を介して、MobileTogether を開始する(前述のポイント参照)。 (ii) 構成ページにアクセスするためにパスワードを入力する。 (iii) 設定タブを選択する。 (iv) ページ下の LicenseServer ペインに移動する。 LicenseServer 名またはアドレスを入力し、「LicenseServer により登録」(Register with LicenseServer)をクリックする。
- CLI の licenseserver コマンドを使用する:


```
MobileTogetherServer licenseserver [options] ServerName-Or-IP-Address  
例えば、LicenseServer がインストールされているサーバー名 localhost の場合：  
MobileTogetherServer licenseserver localhost
```

登録に成功した後、LicenseServer の構成ページのサーバー管理ページに移動して、MobileTogether Server にライセンスを割り当てます。

RaptorXML(+XBRL) Server の登録

[このセクション:](#)

- [RaptorXML\(+XBRL\) Server の登録 \(Windows\)](#)
- [RaptorXML\(+XBRL\) Server の登録 \(Linux\)](#)
- [次のステップ](#)

RaptorXML(+XBRL) Server は LicenseServer が接続されているサーバーマシンにインストールされ、サービスとして開始される必要があります。また、LicenseServer に登録されていなければなりません。登録後のみ、LicenseServer から [ライセンスの割り当て](#) を行うことができます。このセクションでは、RaptorXML(+XBRL) Server の LicenseServer での登録方法を説明します。

RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (Windows)

RaptorXML(+XBRL) Server をコマンドラインインターフェイス CLI を介し licenseserver コマンドを使用して登録することができます:

```
RaptorXML Server: RaptorXML licenseserver Server-Or-IP-Address  
RaptorXML+XBRL Server: RaptorXMLXBRL licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合 `http://localhost:8088`、RaptorXML(+XBRL) Server を以下で登録します:

```
RaptorXML Server: RaptorXML licenseserver localhost  
RaptorXML+XBRL Server: RaptorXMLXBRL licenseserver localhost
```

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、RaptorXML(+XBRL) Server にライセンスを割り当てます。手順はセクション [登録された製品にライセンスを割り当てる](#) に説明されています。

RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、RaptorXML(+XBRL) Server を LicenseServer に RaptorXML(+XBRL) Server CLI の licenseserver コマンドを使用して登録することができます。RaptorXML(+XBRL) Server はルー

ト権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/RaptorXMLServer2018/bin/raptorxmlserver licenseserver
localhost
sudo /opt/Altova/RaptorXMLXBRLServer2018/bin/raptorxmlxbmlserver licenseserver
localhost
```

上記コマンドでは、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。RaptorXML(+XBRL) Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです：

```
/opt/Altova/RaptorXMLServer2018/bin
/opt/Altova/RaptorXMLXBRLServer2018/bin
```

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、RaptorXML(+XBRL) Server にライセンスを割り当てます。手順はセクション[登録された製品にライセンスを割り当てる](#)に説明されています。

次のステップ

Altova 製品を LicenseServer に登録した後、以下を行ってください：

1. LicenseServer にまだライセンスファイルをアップロードしていない場合、(前述のセクション [ライセンスのアップロード](#)を参照してください)、ライセンスファイルをアップロードし、アクティブ化したライセンスをチェックします。既に、この手順が済んでいる場合、次のステップ[ライセンスの割り当て](#)に進んでください。
2. LicenseServer に既に登録されている Altova 製品に[ライセンスの割り当て](#)を行ってください。

StyleVision Server の登録

このセクション:

- [FlowForce Server からの StyleVision Server の登録 \(Windows\)](#)
- [スタンドアロンの StyleVision Server の登録 \(Windows\)](#)
- [StyleVision Server の登録 \(Linux\)](#)
- [次のステップ](#)

StyleVision Server は FlowForce Server の一部として、またスタンドアロンのサーバー製品としてインストールすることができます。どちらの場合でも、Altova LicenseServer に登録されなければなりません。LicenseServer に登録された後のみ、LicenseServer から[ライセンスが割り当てられます](#)。Windows システムでは、StyleVision Server が FlowForce Server の一部としてインストールされる場合、FlowForce が登録される際自動的に登録されます。Linux システムでは、StyleVision Server が FlowForce Server の後にインストールされる場合のみ、FlowForce Server が登録される際に自動的に登録されます。

FlowForce Server からの StyleVision Server の登録 (Windows)

StyleVision Server は FlowForce Server にパッケージされており、FlowForce Server がネットワークの Altova LicenseServer に登録されている場合、StyleVision Server は自動的に LicenseServer に登録されます。FlowForce Server の登録方法は、のドキュメンテーションの [LicenseServer に FlowForce Server を登録する](#) セクションに説明されています。

登録の後、LicenseServer に移動して StyleVision Server ライセンスを StyleVision Server に割り当てます。手順は [登録された製品にライセンスを割り当てる](#) セクションに説明されています。

スタンドアロンの StyleVision Server の登録 (Windows)

StyleVision Server をスタンドアロン パッケージとしてインストールした場合、ネットワークの Altova LicenseServer に登録し、Altova LicenseServer からライセンスを与える必要があります。StyleVision Server を コマンドラインインターフェイス(CLI) 介して `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます:

```
StyleVisionServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合、`http://localhost:8088`、StyleVision Server を以下で登録します:

```
StyleVisionServer licenseserver localhost
```

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、StyleVision Server にライセンスを割り当てます。手順はセクション [登録された製品にライセンスを割り当てる](#) に説明されています。

StyleVision Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、StyleVision Server を LicenseServer に StyleVision Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。StyleVision Server はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/StyleVisionServer2018/bin/stylevisionserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。StyleVision Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/StyleVisionServer2018/bin
```

StyleVision Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、StyleVision Server にライセンスを割り当てます。手順は [登録された製品へのライセンスの割り当て](#) のセクションに説明されています。

次のステップ

Altova 製品を LicenseServer に登録した後、以下を行ってください:

1. LicenseServer にまだライセンスファイルをアップロードしていない場合、(前述のセクション [ライセンスのアップロード](#)を参照してください)、ライセンスファイルをアップロードし、アクティブ化したライセンスをチェックします。既に、この手順が済んでいる場合、次のステップ[ライセンスの割り当て](#)に進んでください。
2. LicenseServer に既に登録されている Altova 製品に[ライセンスの割り当て](#)を行ってください。

1.7.7 登録された製品へのライセンスの割り当て

このセクション:

- [ライセンスの割り当ての前に](#)
- [クライアント管理タブ](#)
- [クライアント管理タブ内のアイコン](#)
- [コアとライセンスについてのメモ](#)
- [ライセンスの割り当て](#)
- [LicenseServer からの製品の登録解除](#)

ライセンスの割り当ての前に

Altova 製品にライセンスを割り当てる前に以下を確認してください:

- [LicenseServer のライセンスプール](#) に対応したライセンスがアップロードされ、ライセンスがアクティブであること
- Altova 製品が LicenseServer に登録されていること

クライアント管理タブ

構成ページの [クライアント管理タブ](#) 内でライセンスは割り当てられます (下のスクリーンショット)。スクリーンショットは、左側のペイン内に、3つの Altova 製品が LicenseServer に登録されているマシンが1台あることを表示しています。

Address	User	Registered Products
doc-aab	adoc	<ul style="list-style-type: none"> RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2 MobileTogether Server 2.2 XMLSpy Enterprise Edition 2016 rel. 3

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
Max licensed CPU cores		16

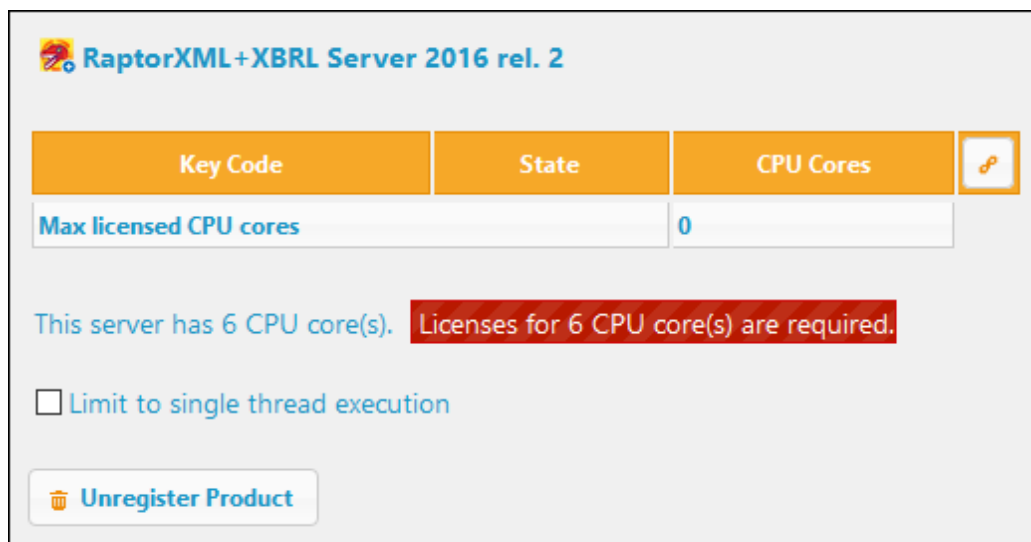
This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

クライアント管理タブについての以下の点に留意してください:




- 左側のペインで、各製品は、クライアントマシンの名前の下にリストされています。上のスクリーンショットでは、1台のクライアントマシンがリストされています。このクライアントマシンには、3つの Altova 製品が LicenseServer に登録されています。Altova 製品が異なるクライアントマシンでこの LicenseServer に登録されている場合も左側のペインに表示されます。

- 左側のペインで、クライアントマシンを選択すると、マシンに登録されている製品の詳細は、右側のペインに表示されています。個々では、各製品のライセンスの割り当てを編集することができます。
- クライアントマシン上に登録されている各 Altova 製品には、自身のキーコードエントリがあり、ライセンスのキーコードを読み取ります。登録されている製品は、「**割り当てられたライセンスを編集する**」ボタンをクリックし、ライセンスプール内からその製品に使用することのできる必要なライセンスを選択することによりライセンスに割り当てられます（下のアイコンのリストを参照してください）。この手順に関しては、下で更に詳しく説明されています。
- サーバー製品にも、クライアント上でライセンスが作動するために必要なコア数を表示するラインがあります。ライセンスされているコアが、必要なコア数より少ない場合、この情報は赤でマークされます（下のスクリーンショット参照）。（ライセンスされる必要のあるコア数は、は、クライアント上の CPU コアの数で、LicenseServer によりクライアントマシンから取得されます）。



- 単一製品の**複数のバージョン**（例えば、StyleVision Server 2013 と StyleVision Server 2014）が1つのコンピューターにインストールされ、インストールが1つの LicenseServer と登録された場合、複数の登録は、クライアント管理タブ内で1つの登録として統合され、1つの登録として表示されます。ライセンスがこの1つの登録に割り当てられる際、この登録により指定される全てのインストールにライセンスが与えられます。しかし、単一インストールの複数のインスタンスは、クライアントマシンで同時に作動することができます。例えば、StyleVision Server 2013 の複数のインスタンスまたは、StyleVision Server 2014 の複数のインスタンスは同時に作動することができますが、StyleVision Server 2013 の1つのインスタンスと StyleVision Server 2014 の1つのインスタンスはできません。新しくインストールされたバージョンは作動するために登録されている必要があります。
- Altova サーバー製品の新しいバージョンは、製品のリリース時の LicenseServer の最新バージョンによりのみライセンスを受けることができます。古い Altova サーバー製品は LicenseServer の新しいバージョンと作動することができます。ですから、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする際、現在使用している LicenseServer のバージョンが最新でない場合、古いバージョンの LicenseServer をアンインストールして、最新バージョンをインストールしてください。アンインストールの際、古いバージョンの LicenseServer の登録とライセンス情報はクライアントマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。（サーバー製品の特定のバージョンに適切な LicenseServer バージョン番号がサーバー製品のインストール中表示されます。サーバー製品と共にこのバージョンを選択することができます。現在インストールされているバージョンは [LicenseServer 構成ページ](#) の下部に表示されます。）

クライアント管理 タブのアイコン

-  **割り当てられたライセンスの編集。** 各製品のリストで使用することができます。新しいライセンスを製品に割り当てることのできる、すでに割り当てられたライセンスを編集できる [割り当てられたライセンスの編集](#) がポップアップします。
-  **ライセンスの表示。** 各ライセンスに表示されます [License Pool タブ](#) に切り替えができ、選択されたライセンスをハイライトされることによりライセンスの詳細がわかります。
-  **製品の登録解除。** 各製品で利用可能です。(選択されたクライアントマシン上の) 選択された製品を LicenseServer から削除することができます。

コアとライセンスについてのメモ

Altova サーバー製品へのライセンスは製品マシンで使用可能なプロセッサコアの数をベースにしています。例えば、デュアルコアプロセッサはコアが2つ、クアッドコアプロセッサはコアが4つ、ヘキサコアプロセッサはコアが6つ等々。特定のサーバーマシン上の製品にライセンスされたコアの数は、物理または仮想マシンで、サーバーで使用可能なコア数よりも多くまたは同数である必要があります。例えば、サーバーが8コア(オクタルコアプロセッサ)の場合、少なくとも8コアライセンスを購入する必要があります。また、ライセンスを合計してコア数を満たすこともできます。2つの4コアライセンスは、8コアライセンスの代わりにオクタルコアサーバーで使用できます。

大きいCPUコアを持つコンピューターサーバーを使用し、少量を処理する場合、少ないコアを割り当てる仮想マシンを作成し、その数のライセンスを購入することもできます。このようなデプロイは、もちろん、サーバーの全ての利用可能なコアが利用されている場合に比べ、処理スピードが落ちます。

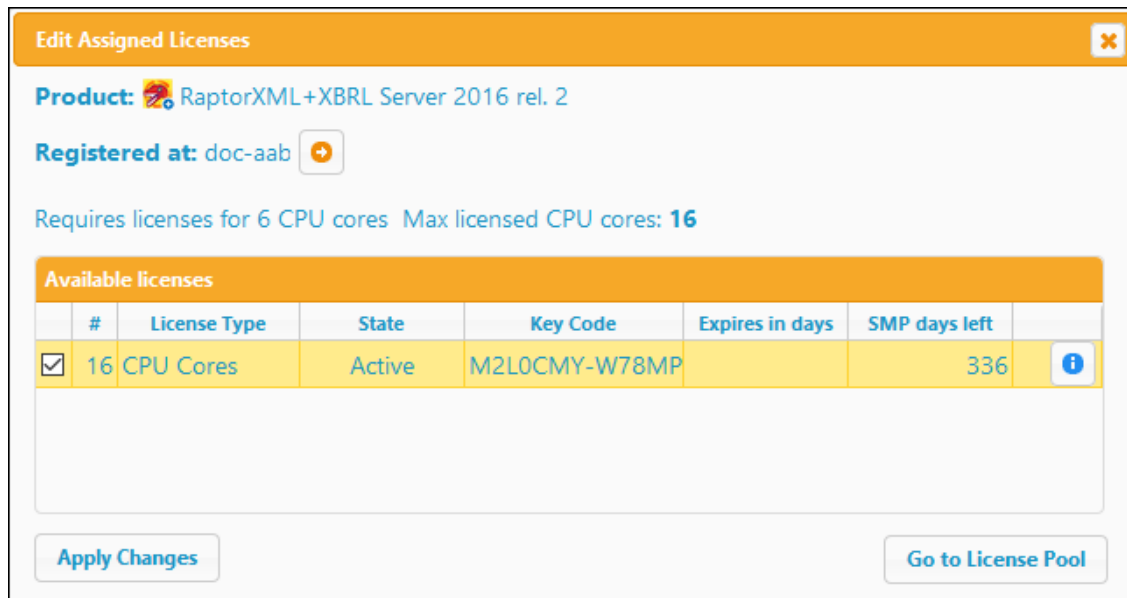
メモ: 各 Altova サーバー製品のライセンスは、使用されていないライセンス容量があっても、1度に1つのクライアントマシンにだけしか使用することができません。例えば10コアライセンスが6CPUコアのクライアントマシンに使用される場合、残りの4コアライセンスは他のマシンで同時に使用することができません。

MobileTogether Server ライセンス

サーバーマシンのコア数をベースにして MobileTogether Servers に割り当てられます。上の例を参照してください。上の説明を参照してください。コアライセンスは、無制限の数量の MobileTogether クライアントデバイスによりサーバーへの接続を許可します。しかしながら、「単一スレッドの実行」チェックボックスがチェックされていると1度にしかしながら、「単一スレッドの実行」チェックボックスがチェックされていると1度に MobileTogether Server に接続できるモバイルデバイスは1台です。これは、評価と小さい規模のテストを行う際に役に立ちます。

ライセンスの割り当て

登録されている製品にライセンスを割り当てるには、製品の「**割り当てられたライセンスの編集 (「割り当てられたライセンスを編集する」)**」ボタンをクリックします。ライセンスの管理 (Manage Licenses) ダイアログがポップアップします (下のスクリーンショット)。



ライセンス管理ダイアログに表示されるライセンスについての以下の点に注意してください:

- ライセンスされる製品はダイアログの上部左にリストされます。上部のスクリーンショットでは、製品は Altova RaptorXML+XBRL Server です。
- サーバーがインストールされているマシン (上のスクリーンショットでは doc-aab) が横にリストされます。
- ダイアログは、ライセンスプールにあるその製品の現在アクティブなライセンスを表示します。スクリーンショットでは、現在アクティブなライセンスである、RaptorXML+XBRL Server ライセンスがライセンスプールにあります。LicenseServer は自動的にプール内の製品のために発行された各ライセンスを検知します。
- ライセンスの種類は、コア数ごと (cores) (MobileTogether Server を含むすべての Altova サーバー製品) またはユーザーごと (Users) (MobileTogether Server のみ) であることができます。ライセンスの種類はライセンスの種類 (License Type) カラムに表示されています。
- 上のスクリーンショット内のライセンスは 16 CPU コア分ライセンスされています。
- Altova サーバー製品がインストールされているサーバーのプロセッサコア数を把握する必要があります。マシンがデュアル コア プロセッサの場合、2-コア (CPU コア数) ライセンスが必要です。サーバー製品の登録に必要なコア数はマシンの名前の下にリストされています。サーバーに割り当てるライセンスはコア数に対して十分有効である必要があります。必要なコア数を達成するためにライセンスを組み合わせることができます。マシンのプロセッサがオクタコア (8 コア) の場合、2 つの 4 コアライセンスを組み合わせることができます。
- 割り当てされたライセンスの編集ダイアログは、製品の現在アクティブなライセンスのみをリストします。他の Altova 製品のライセンスはリストされません。
- 既に割り当てられたライセンスに関しては、たとえば、ネットワークでの製品の他のインストールは、チェックボックスがチェックされています。ですからチェックされていないライセンスのみが選択できます。
- CPU コア (または、 MobileTogether Server のためのユーザー数) カラムは、ライセンスに有効な CPU コア数 (または MobileTogether クライアント数) を表示しています。
- ライセンスプールの変更を希望する場合、例えば、ライセンスのアップロード、アクティブ化、非アクティブ化、および削除は「**ライセンスプールへの移動 (Go to License Pool)**」ボタンをクリックしてください。

割り当てを希望するライセンスの選択。ライセンスチェックボックスがチェックされます。また、製品のライ

センスされた CPU コア数がダイアログ上部左に最大限ライセンスされた CPU コア (Max licensed CPU コア) とリストされます (上部スクリーンショット参照)。クライアントの製品のライセンスされた CPU コア数を増やしたい場合は更にライセンスを選択することができます。最大限ライセンスされた CPU コアはこの場合、選択されたすべてのライセンスのコア総数です。

ライセンスを選択した後、「変更を適用」(Apply Changes) をクリックします。製品に割り当てられたライセンスはクライアント管理タブに表示されます(下のスクリーンショット参照)。以下のスクリーンショットは Altova RaptorXML+XBRL に 16-CPU-コアライセンスが割り当てられたことを表示しています。

The screenshot shows the 'RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2' interface. It features a table with the following data:

Key Code	State	CPU Cores	
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16	
Max licensed CPU cores		16	

Below the table, there is a message: "This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required." and a checkbox labeled "Limit to single thread execution" which is currently unchecked. At the bottom, there is a button labeled "Unregister Product".

LicenseServer からの製品の登録解除

LicenseServer により登録された各 Altova 製品は、クライアントマシン名の下側の右側のペイン (製品ライセンス) に表示されており、エントリの下に **製品の登録解除** ボタンがあります (上のスクリーンショット参照)。LicenseServer から製品の登録を解除するために、このボタンをクリックします。ライセンスが製品に割り当てられている場合、割り当ては登録が解除されると停止されます。全ての製品の登録を解除するには、(製品ライセンス)ペインの右上にある**クライアントと全ての製品の登録を解除する**ボタンをクリックします (このセクションの最初のスクリーンショットを参照してください)。

LicenseServer から製品の登録を解除するには以下を行います:

- **サーバー製品:** サーバー Web UI 内の設定ページに移動します。Web UI がサーバーに存在しない場合、コマンドプロンプトウィンドウを開き、製品の CLI を使用して、製品を登録します。各サーバー製品のための手順は以下で説明されています: [Register FlowForce Server](#)、[Register MapForce Server](#)、[Register MobileTogether Server](#)、[Register StyleVision Server](#)、と [Register RaptorXML\(+XBRL\) Server](#)。
- **デスクトップ製品:** 製品の [ソフトウェアのライセンス認証ダイアログ](#) 「Help | ソフトウェアのライセンス認証」(Help | Software Activation) により、LicenseServer モードからライセンス承認を切り替えることができます。Altova LicenseServer フィールドから登録する LicenseServer を選択します。製品は登録され、LicenseServer のクライアント管理タブの登録された製品のリストに表示されます。

LicenseServer に登録された各 Altova 製品はクライアント管理タブにクライアントマシン名の下にリストされ、「登録解除」(Unregister) アイコンがペインの下にあります(上のスクリーン

ショット参照)。にあります。このアイコンをクリックして製品の登録を解除します。ライセンスが製品に割り当てられている場合、製品の登録が解除されると割り当ては終了します。全ての製品の登録を解除するには、クライアント管理タブの下にある「**クライアントとすべての製品の登録解除**」(Unregister Client and All Products) ボタンをクリックします (このセクションの最初のスクリーンショットを参照してください)。

製品を再登録する場合、「**割り当てられたライセンスを編集する**」(Edit Assigned Licenses) ボタンをクリックします。

1.8 構成ページ レファレンス

LicenseServer 構成ページは LicenseServer (Web UI) の管理者インターフェイスです。このページにより LicenseServer の管理と LicenseServer により登録された Altova 製品 ([FlowForce Server](#)、[MapForce Server](#)、[StyleVision Server](#)、[RaptorXML\(+XBRL\) Server](#)) へのライセンス供与を行うことができます。LicenseServer 構成ページは Web ブラウザーで閲覧できます。構成ページの開き方は以下のセクションで説明されています: [LicenseServer 構成ページの開き方 \(Windows\)](#) と [LicenseServer 構成ページの開き方 \(Linux\)](#) および [LicenseServer の構成ページを開く \(macOS\)](#)。

このセクションは構成ページのユーザーレファレンスが構成ページのタブにより整理されています:

- [License Pool](#)
- [クライアント管理](#)
- [クライアントの監視](#)
- [設定](#)
- [メッセージ、ログアウト](#)

LicenseServer でのライセンスの割り当てについてのステップバイステップの手順は、[ライセンスの割り当て方法](#) セクションを参照してください。

1.8.1 ライセンスプール

このセクション:

- [ライセンスのアップロード](#)
- [ライセンスの状態](#)
- [ライセンスのアクティブ化、非アクティブ化、および削除](#)
- [ライセンスプール \(License Pool\) タブのアイコン](#)
- [ライセンスの情報](#)
- [デスクトップ製品のライセンスに関するメモ](#)
- [コアとライセンスについてのメモ](#)

ライセンスプール (License Pool) タブは、LicenseServer で現在使用することのできるライセンスに関する情報を表示します(下のスクリーンショット参照)。ライセンスファイル、このページの「**アップロード**」(Upload) ボタンを使用して、LicenseServer にアップロードされると、ライセンスファイル内に含まれている全てのライセンスが LicenseServer 上のライセンスプールに置かれます。ライセンスプールページは、ですから、上で現在使用することのできる全ての Altova 製品ライセンスの概要を、これらのライセンスの詳細と共に提供します。このページでは、更にライセンスプールにライセンスをアップロードできるだけでなく、選択されたライセンスを認証、認証の解除、または削除することができます。

Status	Name	Company	Product	Edition	Version	Key Code	Bundle ID	Start Date	End Date	Expires in days	SMP days left	#	License Type	Clients
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Gmb	DatabaseS	Enterprise Editi	2015 rel. 4	GWS36BI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed User	1/50 machir
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document	FlowForce Ser		2015 rel. 4	9FJUP0P-	-	2015-05	-	-	328	8	CPU Cores	
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Gmb	MapForce	Enterprise Editi	2015 rel. 4	BCEB4BI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed User	1/50 machir
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document	MapForce Ser		2015 rel. 4	23A8TT1-	-	2015-05	-	-	328	8	CPU Cores	
<input checked="" type="checkbox"/>	Active	Altova Document	RaptorXML+X		2015 rel. 4	M2L0CMY-	-	2015-05	-	-	328	16	CPU Cores	running assigned
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document	RaptorXML Se		2015 rel. 4	847AXW4-	-	2015-05	-	-	328	16	CPU Cores	
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Gmb	SchemaAg		2015 rel. 4	GWVBWBI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed User	1/50 machir

ライセンスのアップロード

(株式会社 Altova から Altova サーバー製品に与えられた `.altova_licenses` ファイル)をアップロードするには、「参照」(Browse)ボタンをクリックします。ライセンスファイルを参照し、選択します。「アップロード」(Upload) をクリックして、ライセンスファイルに含まれている全てのライセンスをライセンスプールにプールすると、ライセンスプールページにライセンスが表示されます(下のスクリーンショット)。

ライセンスの状態

ライセンスの状態の値は以下の通りです:

- アクティブ化:** ライセンスが、LicenseServer のライセンスプールにアップロードされると、サーバーはライセンスに関連したデータを `altova.com` マスター ライセンス サーバーに、検証、認証、与えられたライセンスをアクティブ化するために送信します。これは、Altova ライセンス使用許諾契約書への順守を確認するために必要です。通常 30 秒から数分かかる、初回アクティブ化と認証トランザクション中、インターネットの接続スピードとネットワークの交通量にもよりますが、ライセンスの状態は **アクティブ化 (Activating...)** と表示されます。
- 失敗した検証:** `altova.com` マスターライセンスサーバーへの接続が確立しなかった場合、プール内のライセンスの状態は **失敗した検証 (Failed Verification)** と表示されます。これは起こり得ることですので、インターネットの接続とファイアウォールのルールを確認して、LicenseServer が `altova.com` マスターライセンスサーバーと通信できるように確認してください。
- アクティブ:** ライセンスが認証されてアクティブ化されると、状態は **アクティブ (Active)** に変更されます。
- 非アクティブ:** ライセンスは検証されたが、ネットワークの他の LicenseServer に存在する場合、状態は **非アクティブ (Inactive)** と表示されます。非アクティブ状態は、管理者がライセンスプール内でのライセンスを手動で非アクティブ化に設定した際におこります。
- 保留:** ライセンスの開始の日付が未来の日付である場合、ライセンスは **保留** として表示されます。00:00 時に有効化にステータスが変更されます。この状態は、製品に割り当てることができ、現在のライセンスの有効期限が切れた場合でも、製品に対するライセンスが、継続されることを保証します。新規のライセンスへの変更は、スムーズな変換であり、クライアントプロセスを実行する必要はありません。
- ブロックされた:** ライセンスの認証に問題がある場合、ライセンスは **ブロックされた (Blocked)** と表示されます。また、`altova.com` マスターライセンスサービスが このライセンスを使用する許可を与えていない場合も表示されます。これはライセンスの過剰使用、またはコンプライアンスの問題などのため、のライセンス使用許諾の違反になる可能性があります。問題を解決すると、ライセンスを削除、再アップロード、再度アクティブ化します。追加情報に関しては下記を参照してください。

これらの状態は以下のテーブルにまとめられています:

状態	意味
アクティブ化 Activating...	アップロードする際、ライセンスの情報は <code>altova.com</code> に検証のために送信されます。アップデータされた状態を確認するためにブラウザを更新してください。検証とアクティブ化は数分かかります。
失敗した検証 Failed Verification	<code>altova.com</code> への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開するか、(「 Activate 」ボタンを使用して)ライセンスをアクティブ化します。
アクティブ Active	検証に成功し、ライセンスはアクティブ化されました。

非アクティブ <i>Inactive</i>	検証には成功しましたが、ライセンスがネットワークの他の LicenseServer に存在します。ライセンスは「Deactivate」ボタンにより非アクティブ化することができます。
保留中 <i>Pending</i>	保留中のライセンスには、開始と終了の日付が存在し、開始日にアクティブに切り替えられます。製品に割り当てることが出来、ライセンスの有効期限が切れる前に製品のライセンスの自動更新をおこなうことができます。
ブロックされた <i>Blocked</i>	検証が成功しませんでした。ライセンスは無効でブロックされています。 Altova サポート に連絡してください。ライセンスをブロックしている問題が解決されるとライセンスを削除、再ロード、またはライセンスをアクティブに設定することができます。ライセンスが更新される都度、新規の検証を開始する Altova マスターサーバーに通信します。再度アップロードを行わない場合、ライセンスの検証は、計画されている Altova マスターサーバーとの通信まで保留になり、同日に発生しない場合があります。

メモ: ライセンスが altova.com に検証のため送信された後、アップデートされた状態を確認するためにブラウザを更新する必要があります。検証とアクティブ化は数分かかります。

メモ: altova.com への接続が確立しない場合、状態は失敗した検証 (*Failed Verification*) と表示されます。接続を確立した後、への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開するか、(「Activate」ボタンを使用して)ライセンスをアクティブ化します。

メモ: ライセンス状態が非アクティブまたはブロックされたと表示されている場合、ステータスを説明したメッセージがメッセージログに追加されます。

製品のインストールにはアクティブな、または、保留されているライセンスのみを割り当てることができます。非アクティブなライセンスはアクティブ化されるか、またはライセンスプールから削除することができます。ライセンスがライセンスプールから削除された場合、ライセンスファイルを再度アップロードすることでアップロードできます。ライセンスファイルがアップデートされると、プールに存在しないライセンスのみがアップロードされます。ライセンスをアクティブ化、非アクティブ化、または削除するには、それぞれ、「Activate」、「Deactivate」または「Delete」ボタンをクリックしてください。

altova.com のマスターライセンスサーバーへの接続

Altova LicenseServer は、ライセンスに関連したデータを検証と認証し、Altova ライセンス使用許諾契約書への継続的な遵守を確認するため、altova.com のマスター Licensing Server と通信する必要があります。この通信は HTTPS を介して、ポート 443 を使用して行われます。altova.com のマスター Licensing Server との最初の検証の後、Altova LicenseServer が altova.com と 5 日間 (= 120 時間)、再接続できない場合、Altova LicenseServer は Altova LicenseServer に接続して Altova ソフトウェア製品を使用することを許可しません。





Altova マスターサーバーへの接続損失は [Altova LicenseServer の構成ページのメッセージ \(Messages\) タブ](#) にログされます。更に、管理者は、altova.com への接続が失われた場合、自動的に警告の電子メールを送信するように Altova LicenseServer を構成することができます。電子メールの設定の変更は、[構成ページの設定 タブ](#)で行うことができます。

ライセンスのアクティブ化、非アクティブ化、および削除

アクティブなライセンスは、ライセンスを選択して「非アクティブ化」(Deactivate) をクリックすることで非アクティブ化することができます。使用されていないライセンスはアクティブ化 (Activate ボタン) または、

削除 (**Delete** ボタン)することができます。ライセンスが削除された場合、ライセンスプールから除去されます。削除されたライセンスはライセンスファイルをライセンスプールにアップロードすることで、再度追加することができます。ライセンスが再アップロードされた場合、ライセンスプールに存在しないライセンスのみがライセンスプールに追加されます。既にライセンスプールに存在するライセンスは再度追加されません。

ライセンスプール (License Pool) タブのアイコン

-  **Altova MissionKit ロゴ。** デスクトップ製品 ライセンスが MissionKit の一部である場合、Altova デスクトップ製品名の横に表示されます。次を参照してください: [デスクトップ製品のライセンスに関するメモ](#)。
-  **割り当てられたクライアントの表示。** 割り当てられたライセンスのクライアント列内に表示されます。クライアントの登録されている製品のライセンスを管理する [クライアント管理](#) タブに移動します。
-  **実行中のクライアントの表示。** 現在さぶち中のソフトウェアに割り当てられているライセンスのクライアント列内に表示されます。ソフトウェアを差込しているクライアントマシンの [クライアントの監視](#) に移動します。ここで、選択されたクライアントと登録されたソフトウェアが表示されます。
-  **情報の表示。** 割り当てられていないライセンスのクライアント列内に表示されます。ユーザーの人数、ライセンスがライセンスバンドルの一部であるか等のライセンスに関する情報を表示します。

ライセンス情報

次のライセンス情報が表示されます:

- 状態: 以下の値であることができます: [アクティブ化 | 失敗した検証 | アクティブ | 非アクティブ | ブロックされた](#)。次を参照してください: [ライセンスの状態](#)。
- 名前、会社: ライセンスの名前と会社名です。この情報は、購入の際に提供された情報を基にしています。
- 製品、エディション、バージョン: ライセンスされている製品のバージョンとエディションです。各列の一番上は、ライセンスをカテゴリ別にフィルターするコンボボックスです。
- キーコード、バンドル ID: 製品のロックを解除するライセンスキーです。単一の Altova MissionKit バンドル内の全ての製品は、バンドル ID 同じを有しています。バンドルされていない製品には、バンドル ID は存在しません。
- 開始日、終了日: ライセンスの有効期限を示します。有効期限の無いライセンスには、終了日がありません。
- 有効期限日数、SMP (残りの日数): ライセンスの有効期限が切れるまでの日数。ライセンスされている各購入には、特定の日数の間有効なサポート & メンテナンスパッケージが付随します。SMP 列は、有効な SMP 日数を表示しています。
- #、ライセンスの型: カラム内にリストされている許可されているユーザー数または CPU コア数。許可がユーザーまたはコアに与えられるかは、ライセンスの型カラムに表示されています。Altova MobileTogether Server 製品の場合、ライセンスは、MobileTogether Server に接続されているクライアントデバイスの数に基づいています。つまりサーバーの **ユーザー数**。その他の Altova サーバー製品では、ライセンスは **CPU コア数**のみをベースに割り当てられています (下を参照)。Altova デスクトップ製品の場合、ライセンス **ユーザー**の数をベースに割り当てられます。 [デスクトップ製品のライセンスに関するメモ](#) を参照してください。

- **クライアント:** この列は、[MobileTogether Server ライセンス](#) と [デスクトップ製品 ライセンス](#) のためのみのエントリです。非 MTS [サーバー製品のライセンス](#)のためのエントリは存在しません。[MobileTogether Server device ライセンス](#)のために、ライセンスが割り当てられているかを表示しています。この列は、デスクトップ製品のために、列は、マシンの台数とユーザーの人数を下記に説明されるように表示します。

デスクトップ製品: マシンの台数 とユーザーの人数

- **マシンの台数** は、与えられたライセンスでソフトウェアを実行することができるライセンスされたマシンの台数を表します。例えば、7/10 マシンは、ソフトウェアインスタンスを10台のマシンで使用することができ、現在7台のマシンでソフトウェアのために使用されていることを意味します。[「割り当てられているクライアントを表示」 \(Show Assigned Client\)](#) ボタンをクリックし、[クライアント管理](#) タブに移動し、クライアントマシンのライセンスの詳細を確認します。
- **ユーザーの人数** は、許可されているユーザーの総数内の現在のユーザーの数を表しています。現在作動している、ライセンスされたソフトウェアのインストールのみが数えられます。例えば、3/10 users は、使用を許可されている10名のユーザー中3名のユーザーが現在ライセンスを使用していることを意味します。ライセンスされているソフトウェアのインストールが現在実行中の場合、[「現在作動中のクライアント」\(Show Running Client\)](#) ボタンをクリックし、[クライアントの監視](#) タブを開き、ネットワーク上のクライアントマシンで作動中の Altova 製品の詳細を確認します。
- **ユーザーの人数 と マシンの台数** は共に、現在のライセンスの許容量と与えることのできるライセンスの使用状況についての情報を表します。例えば [インストールされているユーザーライセンス](#) のマシンの台数が、7/10 であり、ユーザーの人数が3/10 の場合、以下を意味します: (i) 製品 ソフトウェアは、10台のマシンにライセンスを与えることができます。(ii) ソフトウェアは、7台のマシンにライセンスを与えました。(iii) ライセンスを与えられた7台のソフトウェアのうち3台が現在作動中です。

ライセンスの割り当ての解除

マシン上のソフトウェアインストールからライセンスの割り当てを解除するには、[クライアント管理](#) タブに移動します。割り当てを解除するマシンとソフトウェアを選択します。[「割り当てられたライセンスを編集する」](#) ボタンをクリックして、ライセンスの割り当てを解除し、[「変更の適用」\(Apply Changes\)](#) をクリックします。

デスクトップ製品のライセンスに関するメモ

ユーザーライセンスには3つの種類があります:

- **インストールされているユーザー:** ライセンスがソフトウェアをインストールする台数分購入されます。例えば、10台分のユーザーインストールライセンスを購入すると、10台までのマシンにソフトウェアをインストールし使用することができます。各ライセンスを与えられているマシンでは、同時に複数のソフトウェアのインスタンスを開始することができます。各「インストールされているユーザー」のためのライセンスは、そのマシン上で使用される製品を意味します。
- **同時に使用するユーザー:** この種類のライセンスは、同時に使用するユーザーの人数の10倍のコンピューターの台数にソフトウェアをインストールすることのできるライセンスです。すべてのインストールは、同じ物理ネットワーク上に存在しなくてはなりません。ソフトウェアは、同時に使用するユーザーの人数に対して許可されている数のみ使用することができます。例えば、同時にしようとするユーザーのために10個のライセンスを購入したとします、この場合、ソフトウェアは200台までのコンピューターに同じ物理ネットワーク上でインストールすることができます、20台のコンピューター上で使用されることができます。同時に使用するユーザーライセンスを異なる物理ネットワーク上で使用する場合、各ネットワークのために個別のライセンスを購入する必要があります。同時に使用するユーザーのライセンスを複数のネットワークで使用することはできません。

- **名前の与えられたユーザー:** 名前の与えられているユーザーライセンスは、それぞれ5台のマシンまで、ソフトウェアをインストールすることができます。しかしながら、ライセンス内で名前が挙げられているユーザーのみがソフトウェアを使用することができます。このライセンスを使用すると、ソフトウェアが1つのインスタンスのみを使用すると仮定される場合、ユーザーは異なるマシンで作業することができます。

Altova MissionKit ライセンスに関するメモ

[Altova MissionKit](#) は、Altova デスクトップ製品のパッケージです。Altova MissionKit ライセンスは、MissionKit パッケージ内で、各デスクトップ製品のための個別のライセンスから構成されています。これら個別の製品ライセンスには、異なる一意のキーコードが存在しますが、同一のMissionKitバンドルIDを有します。Altova MissionKit ライセンスをライセンスプールにアップロードすると、([Altova MissionKit](#) [ロゴ](#) が横に表示され) MissionKit を構成する各製品の個別のライセンスがライセンスプールに表示されます。これらの製品ライセンスの1つを特定のユーザーに割り当てると、MissionKitバンドル内の他の全ての製品のライセンスもこのユーザーに割り当てられます。この結果、この特定のMissionKitバンドル内の他の製品を他のユーザーに割り当てることはできません。

ライセンスのチェックアウト

ライセンスが製品マシン上に保管されるように、ライセンスをライセンスプールから30日間チェックアウトすることができます。これにより、オフラインで作業することが可能になります。これはとても役に立ちます。Altova LicenseServer にアクセスできない環境(例えば、旅行中にAltova製品がインストールされたラップトップコンピューターで作業する場合)などが挙げられます。ライセンスはチェックアウトされていますが、LicenseServer は、ライセンスが使用中と表示し、ライセンスは他のマシンで使用することができません。ライセンスはチェックアウトの期間が終わると自動的にチェックインされた状態を戻します。または、チェックアウトされたライセンスはソフトウェアのライセンスの認証ダイアログのボタンを使用してチェックインすることができます。ライセンスをチェックアウトするには、Altova デスクトップ製品のヘルプメニューに移動し、**ソフトウェアのライセンスの認証**を選択します。詳細に関してはAltova製品のマニュアルを参照してください。

コアとライセンスについてのメモ

Altova サーバー製品へのライセンスは製品マシンで使用可能なプロセッサコアの数をベースにしています。例えば、デュアルコアプロセッサはコアが2つ、クアッドコアプロセッサはコアが4つ、ヘキサコアプロセッサはコアが6つ等々。特定のサーバーマシン上の製品にライセンスされたコアの数は、物理または仮想マシンで、サーバーで使用可能なコア数よりも多くまたは同数である必要があります。例えば、サーバーが8コア(オクタレコアプロセッサ)の場合、少なくとも8コアライセンスを購入する必要があります。また、ライセンスを合計してコア数を満たすこともできます。2つの4コアライセンスは、8コアライセンスの代わりにオクタレコアサーバーで使用できます。

大きいCPUコアを持つコンピューターサーバーを使用し、少量を処理する場合、少ないコアを割り当てる仮想マシンを作成し、その数のライセンスを購入することもできます。このようなデプロイは、もちろん、サーバーの全ての利用可能なコアが利用されている場合に比べ、処理スピードが落ちます。

メモ: 各Altovaサーバー製品のライセンスは、使用されていないライセンス容量があっても、1度に1つのクライアントマシンにだけしか使用することができません。例えば10-コアライセンスが6CPUコアのクライアントマシンに使用される場合、残りの4コアライセンスは他のマシンで同時に使用することができません。

MobileTogether Server ライセンス

サーバーマシンのコア数をベースにしてMobileTogether Serversに割り当てられます。上の例を参照

してください。上の説明を参照してください。コアライセンスは、無制限の数量の MobileTogether クライアントデバイスによりサーバーへの接続を許可します。しかしながら、「単一スレッドの実行」チェックボックスがチェックされていると 1 度にしかしながら、「単一スレッドの実行」チェックボックスがチェックされていると 1 度に MobileTogether Server に接続できるモバイルデバイスは 1 台です。これは、評価と小さい規模のテストを行う際に役に立ちます。

1.8.2 クライアント管理

このセクション:




- [クライアント管理 タブ内のアイコン](#)
- [製品のリストペイン内のライセンスの管理](#)
- [ライセンスの割り当て](#)
- [単一スレッドの実行](#)
- [異なる名前の下での1つのクライアントマシン](#)
- [評価ライセンスのリクエスト](#)
- [製品の登録解除](#)

「クライアント管理」(Client Management) タブ(下のスクリーンショット)は、2つのペインに分割されています:

The screenshot shows the Altova LicenseServer interface. The top navigation bar includes 'License Pool', 'Client Management', 'Client Monitoring', 'Settings', 'Messages(0)', 'Log Out', and 'Help'. The 'Client Management' tab is active. The interface is split into two panes. The left pane, titled 'Registered Clients', contains a table with columns 'Address', 'User', and 'Registered Products'. The right pane shows details for a selected client, including a table of licenses with columns 'Key Code', 'State', and 'CPU Cores'. The interface includes various action buttons such as 'Request evaluation licenses', 'Unregister client and all products', and 'Unregister Product'.

- **登録されているクライアント:** 左側のペインは、[LicenseServer に登録されている](#) Altova 製品を少なくとも1つテーブルに表示します。このようなマシンは、[登録されているクライアント](#)と呼ばれます。各登録されているクライアントは、左側のペインに登録されている全ての商品をリストしています。LicenseServer に製品を登録する方法は、[製品の登録](#)で説明されています。このペイン内の表示は、ペインの列の上にフィルターを入力することによりフィルターできます。
- **製品のライセンス:** これは右側のペインです。登録されているクライアントが左側のペインで選択されると (登録されているクライアント) クライアントの登録されている製品のライセンスに関する情報が右側のペインに表示されます。各登録されている製品のライセンスを管理することができます (この点については下で説明されています)。

クライアント管理 タブ内のアイコン

-  **割り当てられたライセンスの編集。** 各製品のリストで使用することができます。新しいライセンスを製品に割り当てることができる、すでに割り当てられたライセンスを編集できる [割り当てられたライセンスの編集](#) がポップアップします。
-  **ライセンスの表示。** 各ライセンスに表示されます。 [License Pool タブ](#) に切り替えができ、選択されたライセンスをハイライトされることによりライセンスの詳細がわかります。
-  **製品の登録解除。** (選択されたクライアントマシン上の) 各製品で利用可能です。選択された製品を LicenseServer から削除することができます。 [製品の登録解除](#) を参照してください。クライアントとその全ての製品の登録解除を行うには、ペイン上の「**クライアントとその全ての商品の登録を解除する**」(Unregister client and all products) をクリックしてください。

製品のリストペイン内のライセンスの管理


右側の製品のライセンスペインでは、以下を行うことができます:

- **割り当て、割り当ての解除、製品のライセンスの変更:** 製品の「**割り当てられたライセンスを編集する**」(Edit Assigned Licenses) ボタンをクリックして行います。次を参照してください: [ライセンスの割り当て](#)。各サーバー製品には、クライアント上で製品を作動するためにライセンスされることが必要な CPU コア数が表示されています。ライセンスされているコアが必要なコア数より少ない場合、情報は赤でマークされています(ライセンスされる必要がある CPU コアの数、そのクライアント上の CPU コアの数で、LicenseServer によりクライアントマシンから取得されます)。
- **単一コア、クライアントの単一コアを使用するためのサーバー製品のセットアップ:** 次を参照してください: [単一スレッドの実行](#)。
- **LicenseServer を製品から登録解除する:** 製品の「**製品の登録解除**」ボタンを使用します。次を参照してください: [製品の登録解除](#)。

ライセンスの割り当て

登録されている製品にライセンスを割り当てるには、その製品の「**割り当てられたライセンスを編集する**」(Edit Assigned Licenses) ボタンをクリックしてください。これは、「割り当てられたライセンスを編集する」ダイアログを表示します(下のスクリーンショット)。

Edit Assigned Licenses
✕

Product:  RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

Registered at: doc-aab +


Requires licenses for 6 CPU cores Max licensed CPU cores: **16**

Available licenses

#	License Type	State	Key Code	Expires in days	SMP days left	
<input checked="" type="checkbox"/>	16 CPU Cores	Active	M2L0CMY-W78MP		336	i

Apply Changes
Go to License Pool


割り当てるライセンスを選択し、「変更の適用」(Apply Changes) をクリックします。ライセンスは、その製品に割り当てられ、クライアント管理 タブの製品のライセンス タブ内に表示されます (下のスクリーンショット参照)。

 RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2 +

Key Code	State	CPU Cores	
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16	i
Max licensed CPU cores		16	

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

 Unregister Product

単一スレッドの実行

ライセンスプール内で、製品ライセンスが、1つのコアのためにのみ有効な場合、複数のコアを持つマシンが1つのコアのライセンスに割り当てられることができます。このような場合、マシンはその製品を単一のコアで作動します。ですから、処理は、(複数のコアのみで可能な)複数のスレッドが使用できないため遅くなります。製品は、そのマシン上で単一のスレッドモードで実行されま

す。

単一コアのライセンスを複数のコアマシンに割り当てるには、その製品のために単一スレッドの実行に制限チェックボックスをチェックします。

MobileTogether Server (MTS) の場合、MTS コアライセンスのために単一スレッドの実行が選択されている場合、MobileTogether Server に接続することのできるモバイルデバイスは1台です。2台目のデバイスが MobileTogether Server に接続されると、ライセンスは引き継がれます。最初のデバイスは接続することができなくなり、このためにエラーメッセージが表示されます。

異なる名前で使用される1つのクライアントマシン

クライアントマシンが1度以上 LicenseServer に登録されている場合、クライアント管理タブ内で複数の名前が表示される可能性があります。これは、複数のエントリが表示されるという意味です。これは、マシンが異なるフォームのホスト名で再登録された場合発生します。

追加ライセンスが同じマシンに異なる名前で登録されないように確認してください。(製品のライセンス) ペインの右上にある「クライアントと全ての製品の登録を解除する」ボタンを使用して余計なクライアントマシンの登録を解除してください。また、同じライセンスが同じマシンに複数回割り当てられるライセンスの競合が発生する場合があります。ですので、これら2つのシチュエーション(冗長ライセンスと単一ライセンスの複数回の割り当て)を回避するために、単一クライアントマシンの複数回のエントリは、登録解除されることが奨励されます。

クライアント管理タブ内で取られるマシン名の例です:

- ドメイン名を持つホスト名 (完全修飾されたドメイン名、FQDN)例: "win80-x64_1.my.domain.com" または "Doc3.my.domain.com"。これは(ドメイン情報を持つ、または、持たない) マシンのホスト名が LicenseServer に登録するために使用される licenseserver CLI コマンドの引数としてパスされた場合に発生します。例:
`<AltovaServerProduct> licenseserver Doc3`。これは以下を含む FQDN を作成します:
`: Doc3.my.domain.com`。

FQDN は、また localhost が Windows 7 と 10 システム上でホスト名として与えられた場合に生成されます。

- ドメイン名を持たないホスト名。例: "win80-x64_1" または "Doc3"。これは、Windows 8 システム上で localhost がマシン名として与えられた場合、発生します。
- localhost。一部の場合、localhost は、マシン名として表示されます。

メモ: Windows マシンに Altova サーバー製品をインストール中、マシンが自動的に LicenseServer に登録される場合、localhost がインストーラーマシン名として使用されません。

VPN を介して LicenseServer へ接続

クライアントマシンが仮想プライベートネットワーク (VPN) サービスを介してネットワークに接続する場合、クライアントマシンは、動的に IP アドレスを割り当てられ、接続の都度、異なるマシンとして識別されるようになります。この結果により発生する問題を解決方法については、[ネット](#)

[ワーク情報](#) を参照してください。

評価 ライセンスのリクエスト

30日間無料の評価 ライセンスをクライアントにインストールされている LicenseServer に登録されている Altova 製品のために取得することができます。ペインの右上にある **「評価 ライセンスのリクエスト」(Request Evaluation Licenses)** ボタン (**製品のライセンス**) をクリックします。(クライアントマシン上の) LicenseServer に登録されている Altova 製品のリストを含むダイアログが表示されます。評価ライセンスを必要とする製品がチェックされ選択されていることを確認し、登録フィールドに記入し、リクエストを送信します。30日間有効な評価ライセンスが含まれる電子メールを Altova から受信します。サーバー製品に関しては、リクエストが送信された時点で製品が必要とする有効なコア数が含まれます。ライセンスをディスクに保存して、[ライセンスプールにアップロードします](#)。

製品の登録解除

LicenseServer に登録されている各 Altova 製品が右側のペイン (**製品のライセンス**) でクライアントマシン名の下に表示されます。**「製品の登録解除」(Unregister Product)** ボタンがエントリの下に表示されています。LicenseServer から製品の登録を解除するためにこのボタンをクリックします。製品にライセンスが割り当てられている場合、割り当ては、製品の登録が解除されると解消されます。全ての製品の登録を解除するには、(**製品のライセンス**)ペインの右上にある **「クライアントと全ての製品の登録を解除する」(Unregister client and all products)** ボタンをクリックしてください([このセクションの最初のスクリーンショットを参照してください](#))。

LicenseServer から登録の解除を行うには、以下を行います:

- **サーバー製品:** サーバー製品の Web UI 内の設定ページに移動し、サーバー製品に Web UI が存在しない場合は、コマンドプロンプトウィンドウを開き、製品の CLI を使用して登録します。各製品のための手順は以下で説明されています: [FlowForce Server の登録](#)、[MapForce Server の登録](#)、[MobileTogether Server の登録](#)、[StyleVision Server の登録](#)、と [RaptorXML\(+XBRL\) Server の登録](#)。
- **デスクトップ製品:** 製品の [ソフトウェアのライセンス認証 ダイアログ](#) **「Help | ソフトウェアのライセンス認証」(Help | Software Activation)** により LicenseServer モードからソフトウェアの認証に切り替えます。Altova LicenseServer フィールド内から、製品を登録する LicenseServer を選択します。製品は、LicenseServer のクライアント管理タブ内の登録された製品リスト内に表示されます。

詳細に関しては、次のセクションを参照してください: [登録された製品へのライセンスの割り当て](#)。

1.8.3 クライアントの監視

クライアントの監視 タブにより選択されたクライアントマシンの概要を確認することができます。タブには以下が表示されます：







チェックアウトされているクライアント

(サーバー製品ではなく XMLSpy または MapForce などの、Altova デスクトップ製品) のエンドユーザーは、LicenseServer に登録されているライセンスをチェックアウトすることができます。エンドユーザーのマシンが一定の期間オフラインであることが想定される場合、この機能が使用されます。LicenseServer からライセンスをマシンがオフラインである一定の期間チェックアウトすることができます。この期間内で、エンドユーザーは Altova デスクトップ製品を LicenseServer に通信を取ることなく使用し続けることができます。現在チェックアウトされているライセンスとユーザーは、この見出しと共にリストされます。

メモ: エンドユーザーは、Altova デスクトップ製品のソフトウェアのライセンスの認証ダイアログ(**Help | Software Activation**)によりライセンスをチェックアウトすることができます。

実行中のクライアント

現在クライアント上で実行されている Altova 製品のリストです。製品の複数のインスタンスが実行されている場合、これらのインスタンスがリストされています。

Running Clients								
Product	Edition	Version	User	Address	State	Failover	Last seen (seconds ago)	
 RaptorXML+XBRL Serv		2016 rel. 2	DOBRA	doc-aab	Running		8	 
 XMLSpy	Enterprise Editic	2016 rel. 3	adoc	doc-aab	Running		11	 

メモ: [Failover LicenseServers](#) は、v2015rel3 または以降であるクライアントアプリケーションと作動します。(Altova MobileTogether Server の場合、バージョン 1.5 または以降)。古いクライアントにはフラグが立てられます。

メモ: [フェールオーバー LicenseServers](#) は、v2015rel3 または以降であるクライアントアプリケーションと作動します。(Altova MobileTogether Server の場合、バージョン 1.5 または以降)。古いクライアントにはフラグが立てられます。

クライアントの監視 タブ内のアイコン



ライセンスの表示。製品のインスタンスに表示されます。[License Pool](#) タブに切り替えができ、選択された製品のインスタンスがハイライトされることによりライセンスの詳細がわかります。



クライアントの管理。各製品のインスタンスに表示されます。[クライアント管理](#) タブに切り替えができ、選択された製品のインスタンスをハイライトします。

1.8.4 設定

このセクション:

- [フェールオーバー LicenseServer 設定](#)
- [ネットワーク設定](#)
- [電子メールの設定の変更](#)
- [その他の設定](#)

設定 タブに関しては下で説明されています。次を設定することができます:

- **LicenseServer をシャットダウンするまでの待ち時間。** シャットダウンは、通常サーバーのメンテナンスのために実行されます。シャットダウンする時間は、Altova デスクトップ製品を実行中のクライアントの作業を減らすために使用することができます。選択されたシャットダウンタイムは、シャットダウンの最長の時間です。デスクトップ製品を作動するクライアントに LicenseServer が接続されていない場合、LicenseServer は即時シャットダウンされます。シャットダウンまでの待ち時間は、「**シャットダウン**」をクリックすると開始されます。シャットダウンをキャンセルするには、「**シャットダウンの中断**」をクリックします。LicenseServer のシャットダウン中に、クライアントの作動を有効化するには、**フェールオーバー LicenseServer** を構成してください。
- プライマリ LicenseServer が使用できなくなった場合、2番目の LicenseServer が、プライマリ LicenseServer から引き継ぐように構成することができます。この2番目の LicenseServer は、**フェールオーバー LicenseServer** と呼ばれます。この2番目の LicenseServer は、**フェールオーバー LicenseServer** この設定の指定方法はここから確認することができます。
- この2番目の LicenseServer にログインするためのパスワード。希望するパスワードを入力し、「**パスワードの変更**」(Change Password) をクリックします。
- Altova への接続をテストするには、「**Altova への接続をテストする**」(Test Connection to Altova) をクリックします。接続をテストする前に、(ペインの下の「**保存**」(Save) ボタンをクリックして)新しい設定を保存する必要があることに注意してください。「**Altova への接続をテストする**」(Test Connection to Altova) ボタンは、テスト中は無効化されており、テストが完了すると有効化されます。
- ウェブベースの構成ページ (Web UI) のためのネットワーク設定は、(存在する場合) インターネットに接続するために使用されるプロキシサーバー、およびライセンスサービスの使用のためです。これらの設定に関しては下のネットワーク設定で説明されています。
- 電子メールサーバー設定と LicenseServer に関する重要な事項が発生した場合に電子メールが送信される宛先です。これらの設定に関しては下の [電子メールの設定の変更](#) で説明されています。
- 設定を変更した後、ペインの下の「**保存**」をクリックします。変更された設定は、保存されるまで効果が適用されません。

フェールオーバー LicenseServer 設定

プライマリ LicenseServer が使用不可能になった場合、プライマリ LicenseServer から第 2 LicenseServer への LicenseServer 切り替えを構成することができます。この第 2 LicenseServer は **フェールオーバー LicenseServer** と称されます。

Failover LicenseServer Settings

To reduce the risk of an unavailable LicenseServer you can configure a second LicenseServer as a backup or "Failover LicenseServer".

In the event that the Primary LicenseServer becomes unavailable a Failover LicenseServer can take over.

LicenseServer Mode

- Primary LicenseServer
- Failover LicenseServer

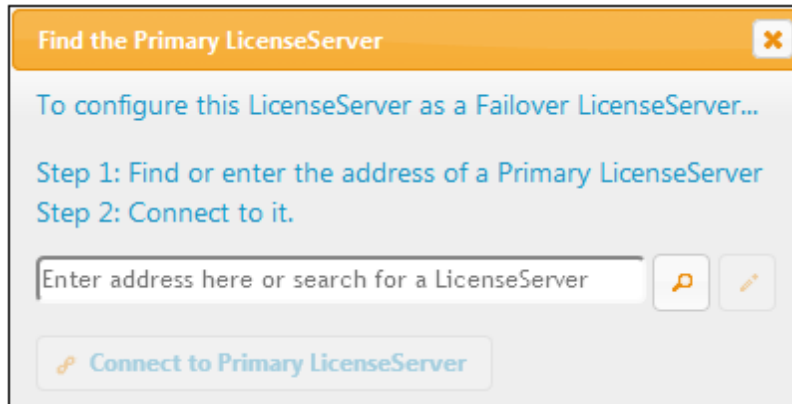
Please note: The Failover LicenseServer periodically synchronizes all licenses, registered clients and license assignments from the Primary LicenseServer. Whenever a Failover LicenseServer takes over from a Primary LicenseServer any changes to these items made on the Failover LicenseServer during this period will be lost as soon as the Primary LicenseServer regains control. Other settings such as Proxy Server and Mail settings are independently set in each server and are not synchronized.

This is a Failover LicenseServer for the LicenseServer at kubu6.altova.com

Last seen 2/5/2015, 11:56:04 AM

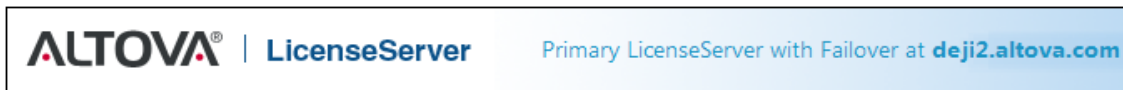
LicenseServer をフェールオーバー LicenseServer と設定するには、以下をおこないます:

1. インストールセクションの指示に従い LicenseServer をインストールします。
2. LicenseServer のモードを、対応するラジオボタンを選択して、フェールオーバー LicenseServer に設定します。(上のスクリーンショットを参照)。(デフォルトでは、LicenseServer モードはプライマリ LicenseServer に設定されています。)
3. 表示されるプライマリ LicenseServer を検索 ダイアログ (下のスクリーンショット) にフェールオーバー LicenseServer によりバックアップされるプライマリ LicenseServer を入力します。手順は以下の方法で行うことができます: (i) 「**LicenseServers の検索**」(Search for LicenseServers) をクリックして、コンボボックス内で検索された LicenseServer リストからバックアップする LicenseServer を選択します。(ii) 「**手動でアドレスを入力**」(Manually Enter Address) をクリックして、バックアップする LicenseServer のアドレスを入力します。プライマリ LicenseServer を入力して、「**手動で LicenseServer へ接続**」(Connect to Primary LicenseServer) をクリックします。



4. 確認ダイアログが表示され、現在の LicenseServer を選択された プライマリ LicenseServer のフェールオーバー LicenseServer として設定するかが問われます。確認すると、インストールされたライセンスと登録されたクライアントが削除されます。続行する場合は「はい」をクリックします。続行を確認することは、インストールされたライセンスを削除し、現在の LicenseServer から登録されたクライアントの登録を解除することに注意してください。

フェールオーバー LicenseServer が構成されると、プライマリ LicenseServer とフェールオーバー LicenseServer の双方に対するモードに関する通知が構成ページの上に表示されます。下のスクリーンショットで、最初に フェールオーバー LicenseServer が、次に プライマリ LicenseServer が表示されています。



以下の点に注意してください:

- フェールオーバー LicenseServer が構成された後に、定期的にプライマリからのすべてのライセンス、登録されたクライアント、使用許諾契約を同期化します。プライマリが使用不可能になると、フェールオーバーが LicenseServer の役割を引き継ぎます。プライマリが再び使用可能になると、プライマリがフェールオーバーを引き継ぎます。フェールオーバーに加えられたライセンスに関連する変更は、プライマリが管理を再び開始すると失われます。
- フェールオーバー LicenseServer は、2015 rel 3以降、(Altova MobileTogether Server の場合は、v 1.5 または以降) のバージョンのクライアントのみにライセンスを提供します。プライマリ LicenseServer (下のスクリーンショット) の [クライアント管理タブ](#) で古いクライアントはフラグされます。フェールオーバー LicenseServer 機能を使用する場合は、クライアントのアプリケーションを 2015 rel 3 以降にアップグレードするか、または、後に行ってください。(Altova MobileTogether Server の場合は、v 1.5 または以降)

ライセンスのチェックアウト

デスクトップのライセンスをライセンスプールから Altova デスクトップ製品 がインストールされているマシンにチェックアウトするように選択することができます。これを許可すると、LicenseServer から取得された

クライアントは、このライセンスをチェックアウトし、この設定が指定する期間モニターされることはありません。チェックアウトのための最長期間は 30 日です (これにより (旅行中など) LicenseServer へのアクセスがない場合でも、クライアントがデスクトップ製品の使用を継続することができます)。Altova デスクトップアプリケーションの「ヘルプ | ソフトウェアの認証」コマンドを使用してクライアントはチェックアウトすることができます。

ライセンスのチェックアウト後、[クライアントのモニター](#) タブのチェックアウトされたクライアントのセクションに移動されます。使用中と考えられ、ネットワーク上の他のクライアントにより使用されることはできません。

ネットワークの設定

管理者は LicenseServer 構成ページおよび LicenseServer にポイントされるネットワークアクセスを指定することができます。

Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses
 Only the following hostname or IP address:
Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system
 Fixed port
Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

Proxy Server

Configure the proxy server connection details if a proxy server is needed to communicate with Altova's servers.

Hostname
 Port Number If the port number is left blank the default port 1080 will be used.
 User Name
 Password Leave the user name and password blank if no authentication is required.

License Service

Configure the host addresses where the LicenseServer service is available to clients.

All interfaces and assigned IP addresses
 Local only (localhost)
 Only the following hostnames or IP addresses:
Ensure the hostnames or IP addresses exist or LicenseServer will fail to start!

- **Web UI:** 許可された IP アドレスの、すべてのインターフェイス、マシンの IP アドレス、固定ア

ドレス、ポートは動的に計算されるか固定されることができます。これにより広範囲の IP-アドレス:ポート設定が許可されます。デフォルトのポート設定は **8088** です。

- **プロキシサーバー (v1.3 以降使用可能):** プロキシサーバーがインターネットに接続する際使用される場合、プロキシサーバーの詳細はプロキシサーバーペインに入力される必要があります(上部スクリーンショット参照)。これらのフィールドはプロキシサーバーが使用時のみ記入される必要があります。プロキシサーバーを使用するために LicenseServer を構成するには、プロキシサーバーのホスト名と必要であれば、ポート番号を入力します。プロキシサーバーが認証を必要としない場合、ユーザー名とパスワードのフィールドは空白にしておくことができます。
- **License サービス:** がインストールされているマシンは、1つまたは複数のネットワークインターフェイスから、複数または1つのネットワークに接続することができます。それぞれのネットワークで、License Server マシンはホスト名とIP アドレスにより検出されます。License Service 設定により、どのネットワークライセンスサービスを使用することができるか知ることができます。localhost オプションは、ローカルマシンのみでのサービスを許可します。ホスト名またはおよび IP アドレスをリストする場合、スペースを使用せず、コンマのみでリストを区切ります。(例: hostname1, IPAddress1, hostname2)。サービスのポート番号は、**35355** に固定されています。

デフォルトでは、これらの設定は LicenseServer と LicenseServer が接続されているネットワークの構成ページへの制限のないアクセスを許可します。LicenseServer または、構成ページへのアクセスを制限したい場合は、適切な設定を入力して「**保存 (Save)**」をクリックしてください。

接続テスト(上部参照) 実行して設定が正しいか確認してください。

メール通知の設定

重要な LicenseServer イベントが発生した場合、警告メールが指定された電子メールに送信されます。Altova LicenseServer は、altova.com サーバーに接続されている必要があります。接続が 24*5 時間(5 日間)途切れた場合、LicenseServer はライセンスを許可しません。この結果、LicenseServer にライセンスされた Altova 製品との作業セッションが失われる可能性があります。管理者に接続が破損していることを通知するには、指定されている電子メールアドレスに警告メールを送信しておこないます。

接続エラー状態を管理者に通知するために、通知メールを電子メールアドレスに送信することができます。管理者の電子メールアドレスに通知メールを送信する通知メールペイン(下のスクリーンショット参照)に設定を入力します。

Alert Mail

Configure email settings for communication with administrator.

SMTP Host

SMTP Port

User authentication

User password

From

To

Miscellaneous

Show hint how to receive evaluation licenses for a server product

Send a warning email if contact with a running product is lost.

SMTP ホストおよび SMTP ポートは電子メール通知が送信される電子メールサーバーのアクセスの詳細です。ユーザー認証 (User Authentication) とユーザーパスワード (User Password) は電子メールサーバーにアクセスするためのユーザーの資格情報です。From フィールドに電子メールの送信者の電子メールアカウントのアドレスを入力します。To フィールドは受信者の電子メールアドレスを入力します。

完了すると「保存 (Save)」をクリックしてください。メール通知の設定タブを保存した後、電子メール通知が、altova.com への接続エラーなどの重大な出来事が起きた際に指定されたアドレスに送信されます。このようなエラーの際は [メッセージタブ](#) にも記録されますので、メッセージタブで確認することもできます。

その他の設定

評価 ライセンスの受け取りとデプロイのヒントの表示

構成ページ下部のこのボックス (上のスクリーンショット参照) をチェックすることにより、簡単な評価ラ

ライセンスを評価しデプロイする簡単な説明が表示されます。

作動している製品とのコンタクトエラーが発生した場合に警告電子メールを送信する
ライセンスされ作動している製品とのコンタクトエラーが発生した場合、*From* アドレスから警告メッセージが送信されます。

1.8.5 メッセージ、ログアウト

メッセージ(Messages) タブは LicenseServer のライセンスプール内のライセンスに関連したすべてのメッセージを表示します。各メッセージには **削除 (Delete)** があり 特定のメッセージを削除することができます。

ログアウト(Log Out) タブはログアウトボタンとして機能します。タブをクリックすることにより、すぐにログインマスクが表示されます。

1.9 パスワードのリセット

LicenseServer パスワードを忘れた場合、コマンドラインインターフェイスから `passwordreset` コマンドを使用してパスワードをデフォルトにリセットすることができます。

1. コマンドライン ウィンドウを開く
2. LicenseServer アプリケーションまたは実行可能ファイルがインストールされているディレクトリに変更する
3. 次のコマンドを入力する: `licenseserver passwordreset`
これによりLicenseServer 管理者のパスワードを `default` に設定します
4. 管理者にパスワード `default` を使用して、ログインすることができます。

Index

A

- Altova LicenseServer,**
(LicenseServer を参照してください), 2
- Altova ServiceController, 14**

F

- FlowForce Server,**
LicenseServer に登録 30
- FlowForce Server を LicenseServer に登録 30**

L

- LicenseServer,**
 - FlowForce Server を登録 30
 - Linux へのインストール 9
 - macOS へのインストール 12
 - MapForce Server を登録 35
 - MobileTogether Server の登録 37
 - StyleVision Server を登録 39
 - Windows へのインストール 7
 - デスクトップ製品を登録する 29
 - のインターフェイス 48
 - ライセンス割り当てのステップ 15
 - 開始 16
 - 構成ページ 48
 - 設定 62
- LicenseServer への VPN 接続 4**
- LicenseServer 構成ページ,**
(構成ページ参照), 18, 21, 23
- LicenseServer へ MobileTogether Server を登録 37**

M

- MapForce Server,**
LicenseServer に登録 35
- MapForce Server を LicenseServer に登録 35**

- MobileTogether Server,**
LicenseServer へ登録 37

S

- ServiceController, 14**
- StyleVision Server,**
LicenseServer に登録 39
- StyleVision Server を LicenseServer に登録 39**

Z

- クライアントの IP アドレス 4
- クライアントのホスト名 4
- クライアントマシンの監視 61
- クライアント管理ペイン 56
- サーバー管理タブ 42
- デスクトップ製品,
 - デスクトップ製品を登録する 29
- デスクトップ製品を LicenseServer に登録する 29
- デフォルトのパスワード 18
- ネットワーク情報,
 - VPN を使用した接続 4
 - とクライアントの IP アドレス 4
 - 接続のプロシージャ 4
- ネットワーク設定 62
- パスワード,
 - 開始のデフォルト 18
- パスワードのリセット 70
- パスワードをリセットする 70
- メッセージ 69
- ライセンス,
 - アップロード 26, 49
 - 割り当て 42, 56
 - 管理 56
- ライセンスのアップロード 26, 49
- ライセンスの割り当て 42
- ライセンスプール 26, 49
- ログアウト 69
- 管理者インターフェイス 48
- 更新 6
- 構成ページ 48
 - (Linux) の URL 21
 - (macOS) の URL 23
 - Linux で開く 21

構成ページ ,48

macOS で開く ,23

Windows で開く ,18

の URL, 18

製品とクライアントの登録の解除 ,56

設定 ,62

通知電子メール ,62

評価ライセンス ,56